無産階級戰闘雑誌

第五年 九月号 第九号

一部十錢
昭和二年九月一日發行 昭和二年八月二十八日印刷納本
田狂二編輯

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

■誌代一ヶ年分拂込者にマルクス大寫眞を無代贈呈す■

■本號一瞥■

□無産政黨に望む……卷頭言

同人時評

■政友會の積極政策は何を爲したるか
■世界戰爭の萌芽に警戒せよ
■府縣會議員選擧と共同戰線の必要
■支那安定と列强の野心
■死刑反對罷業の意義
■米價調節は誰の利益か
■同愛會解散と其の罪業
■土地開墾が先きか小作法制定が先きか

□府縣會選擧に何故戰ふのか……羽田光雄
□府縣會選擧戰の役割……岩崎正三郎
□親善の裡に潜む罪業の評價……牛窪愛之進
□芥川龍之介氏と若き社會運動者の死……布施辰治
□巡査と憲兵に與ふ……木下正
□無産階級の政治的進展と婦人意識の再現……高群逸枝
□朝鮮社會運動小史序說……金熙明
□左右兩翼の對立鬪爭より團結へ……澤井龍之助
□「反政黨運動」に寄す……一勞働者
□米國の勞働運動……淺野研眞
□地を荒すもの……中島安太郎

備へよ！智識は力だ!!

第二十版

マルクス寫眞集

内容

マルクスの生家、マルクス夫人、マルクスの原稿、マルクスの博士免狀、マルクスの署名、マルクスの旅行免狀、ロンドン亡命中のマルクス、ロンドンに於けるマルクスの住宅、資本論執筆時代のマルクス、晩年のマルクス、マルクスの墓、の十一枚。四六倍版アート紙、印刷鮮明、極めて美麗。

本社編纂　一部五拾錢　送料四錢

第二十版

社會思想家寫眞集

内容

サンシモン、フーリエ、オーエン、プルードン、マルクス、バクーニン、エンゲルス、ウヰルヘルム・リーブクネヒト、カール・リーブクネヒト、クロポトキン、ラッサール、レーニン、トロツキー、の拾三枚、四六倍版アート紙印刷鮮明、極めて美麗たり、無産階級の永久に記念すべきものである。

本社編纂　一部五拾錢　送料四錢

第拾版

日本勞働運動小史

内容

明治大正を通じての日本に於ける勞働者解放運動の全分野に渉つて、細大洩らさず僅か百三十餘頁の内に收めた手頃なパンフレットである。尙ほ卷末に附せられたる統計、文獻、年表は用意周到な貴重なものだ。苟も日本プロレタリア運動の史的背景を知らんとする者は必ず一本を備ふべきだ！

淺野研眞述　定價五拾錢　送料四錢

再版

生きる權利と儲ける權利

内容

生は權利だ、人間として生を享けた以上は何人と雖生きる權利がある。然るに資本主義は不當に與へられたる無産階級の權利を剝奪してゐる。本書は不合理なる現制度を解剖して、人間權の奪還を叫び、無産者の進路を示せる絕好の社會主義入門書である、眞理を摑まんとする無産青年は讀め！

吉田源殘著　定價拾錢　送料一錢

再版

農民諸君に與ふ

内容

横暴例ふるにものなき地主の虐殺的搾取に、憤激措く所を知らざる農民諸君！農村の疲弊、田地の荒廢、青年の離村、而して諸君の經濟的窮迫等々の、所謂農村問題に對し、鬱然擡頭せる近代社會思想は何を以つて之を解決せんとするか？農民諸君は擧つて、本書の示す社會主義陣營へ來たれ！

神庭仲之介著　定價拾錢　送料二錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾等の主張

一、資本主義制度を解剖して大衆を啓蒙す、

一、社會思想を解說して非搾取の社會を建設す、

一、解放團體の分裂を防止して全無産階級の團結を企圖す、

一、社會運動を鞭韃して戰鬪精神を振作す、

一、社會運動を攪亂する總ゆるものを討伐す、

第五年■戰鬪■進め■雜誌■第九號

無産政黨に望む

無産政黨は分裂抗爭の中に一年有餘の日月を送つたがその間大衆は何を學んだか。

單一無産政黨への希望が昨今程大衆の間に濃厚になつて來た事はかつてなかつた。單一無産政黨主義は、無産者の政治闘爭へ進出し初めた當初から、叫ばれつゞけられてゐたが、大衆は實際の日常生活上からさしたる刺擊を受けなかつた。そして、自然の成行きに任せてゐたのであるが、今國家權力を背景にもつ資本の大攻勢を前にして、大衆の反抗、不平を最も具體的に反映し積極的に働きかくるには、單一無産政黨の必要なる事を痛切に感じ初めて來た。理想論としてゞはなく、實際闘爭の過程から力强くも要求され初めた。

各黨の幹部達も無産黨の合同は夢としてゞはなく望んでゐる。切崩し、財政難等、分裂より來る種々な難關に疲れ果てた。しかし、彼等は自らの地位を顧慮するの結果、其合同論は勢ひ有條件となり、實現するに至らない。

或ひは、幹部のみ追放し、大衆のみ來たれと怒號し、或ひは小兒病者の存在を指摘して。

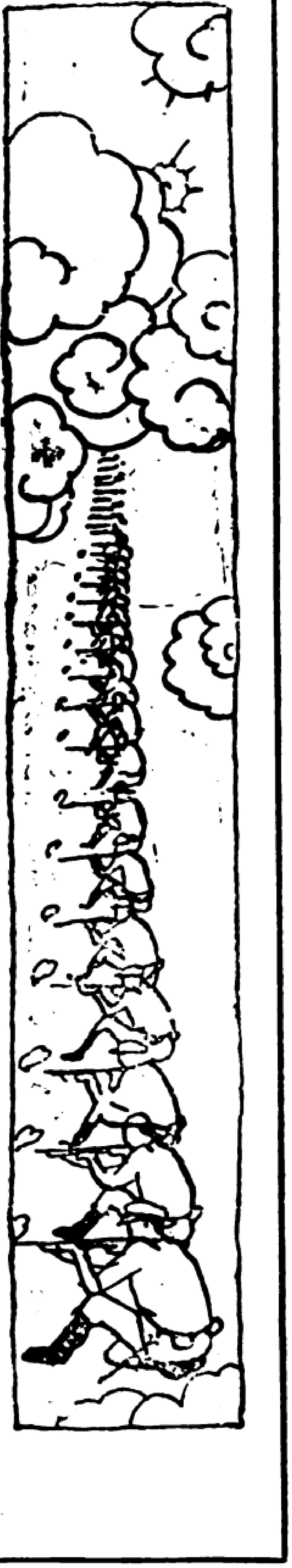
有條件合同は、切崩し、潜行運動によつてのみ可能であり、百年河清をまつに等しい。一見して、無條件合同は、清濁分子の混合となり危機を孕むものゝ如く見ゆるが、反つて一大清淨作用を營むものではなからうか。分裂して、互に量の優勢を誇らんとする抗爭こそ、不眞分子の横行する原因では無いであらうか。分裂抗爭の過程こそ眞正な階級意識を戰ひ取る爲めに必要であると一部の論者は云ふけれども、吾人は、合同による清淨作用が、たゞに階級内の闘爭より來る精力の濫費を皆無にするのみならず、不眞分子の漁夫の利を占むる餘地を閑塞し、前者によるそれ以上に闘爭主體の結成を可能ならしめると信ずるものである。

或る者はブロレタリヤを先頭隊とする小農、小ブルヂヨアの共同戰線を力說し、現に革新黨とさへ提携せんとするにかゝはらず、他の無産政黨とのそれは斷然拒絕する。すでに合同の氣運は熱し作ら、彼等の偏狹な他黨態度はそれを阻害してゐる。要之、彼等は餘りに他黨の幹部を高く評價し、その幻影におそるゝからである。資本の政勢より、むしろその幻影に。後者は單に幹部の心理に過ぎないが、前者は無産階級の死活に關する問題である。

吾人は各無産黨が無條件合同の清淨作用を一考し、大局の前に努力してくれる事を望んで止まない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同人時評



政友會の積極政策は何を爲したるか

政友會の積極政治と聞けば、一寸耳ざわりが好い樣であるが、實は積極の名を借る放慢政策であり反動政治である。彼等の傳統的精神は、過古においてどれだけ世の中の空景氣を煽り、物價を吊上げや、增稅を行つて無產者の憤怒を高めたかは何人と雖も記憶にあざやかな所である。

憲政會內閣が崩壞して政友會は再び政權を握り、そしてどんな事をしたか。

立入禁止が田中內閣になつてから頻々として農民の生存權を脅威した。これは田中が地主の尻押しをして立入禁止の奬勵をしたからである。眞夜中になつて立入禁止の執行人が祖先傳來耕し來た耕作地に泥棒の樣に忍んでくる。

無產階級の言論の自由を壓迫し初めた。例へば機關新聞、思想雜誌を矢繼早に發賣禁止する。その爲めに政府は內閣制度を事務の多忙に名をかつて拒絕した。これ發賣禁止政策を採りし證據である。

集會の自由すら拒否せんとする。プロレタリヤが會合せんとするや、理由なく當局は檢束解散を命じて了ふ。職工に軍隊を出動させて、戒嚴令の如き××をする。川崎造船所を見よ。軍隊と警察の警戒裡に三千の職工を馘首し、五百の所員を飢餓の巷に追出して行く。これが無產階級の前衞分子への積極政策である。

政府は失業者の爲め努力した事があるか。否、逆に米の値上げを企てたではないか。

彼等が譽めてゐる善良な農民にでも耕作權を確立してやつたか。否、自作農創立案と呼ぶ欺瞞策を興へただけではなかつたか。

失業者や農民勞働者には極めて冷淡であり、反之、米の値上や自作農創定案は金持の御機嫌取りだ。これは金持への積極政策である。

次に財政上の積極政治はどうか。

文部省では××教育費をうんと要求する。

鐵道政策は健主改從の方針といふ。滿蒙への進出には本年度より豫算を倍加させるといふ。

自作農を創設する。

警察費を增額して、これ以上警察網を完備させると云ふ。

そこで新規要求が二億圓にも上り、來年度の豫算は十八億圓ぐらゐ膨脹するだらうと云はれてゐる。しかし、財源の點はどうか。

公債と增稅である。公債政策は政友會の傳統政策である。昨年末までの國債は五十一億七千百五十六萬圓に達して利子だけでも二億五千圓あつた。それに今年の金融恐慌で九億圓も××資本家の爲めに出してあるから、その額は巨大なものである。この上尚公債を濫發して、大衆に(利子ばかりでは無い、××資本家には貸したが最後である)重き負擔を課するのである。

外米關稅を復活して(關稅は十月三十一日まで免ぜられてゐるのを八月十二三日頃から復活させる)米價を吊上げる。そして大衆から間接稅として取上げる。

郵便料金を値上して一千七百萬圓の財源を作るといふ。現在すでにして重稅の爲め苦しみつゝある大衆はまたも積極政策の犧牲となるのだ。

さて所謂健主改從とか稱する鐵道政策や土木事業等の利權政策は、一體誰れの利益になるか。國民全般か。否、地方の地主やブローカーのふところを重くするだけである。

これが金持への積極政策である。

然らば其の十八億圓にも餘る金は何人が負擔するか。それは大衆である。

惡稅の洪水である。

これが貧乏人への政友會の積極政策である。

以上によつて政友會の積極政策の備へが階級的に相異してくる事がはつきり認められる。

我々はこの正體を大衆の中にさらけ出し、生活の現實の姿においてそれを指摘し、大衆の××を高め、九月の府縣會議員選擧にそなへ、大衆の××を盡く支配階級に向つて投げつけねばならぬ。黨はこの大衆の反抗を具體的に反映し、全無產階級の鬪爭にまで引上ぐる爲めには、その發展過程の中から單一無產政黨へのよき萌芽を拾ひ集め、寄々と繁茂させなくてはならぬ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世界戰爭の萠芽に警戒せよ

軍縮會議決裂せんとする日、會議開催地ゼネバの地において、皮肉にも製鐵業者は決裂を祝し、祝盃を擧げた。製艦競走は彼等の望むところである。軍縮會議の決裂の原因に就いては、色色な事情があらうが、要之、日英米の三國に軍縮の意志を實質にもつてゐなかつたに起因する。即ち、彼等三國は會議の初めより軍縮はおろか擴張的案を出してゐた。吾々はこの會議に就いては初めから泥仕合に終るであらう事を豫想してゐた。せつぱつまつた資本主義時代において、第二次世界大戰の不安がみなぎつてゐる時、被壓迫民族の解放への叫び高き時において、三國は互に自國の地位をより高度に維持せしめる軍備を有せんとする欲望は根を張つてゐるのだ。三國は軍縮の意志なくしてゼネバに集つたのは、この漠然とした他國に對する不安、疑惑の念から來たものであつて、多少でもその底意に觸れて見て自らの不安や疑惑に淺薄ながら一つの目標を發見しようとしたからであつた。

かくして會議開催してより四十日目の八月四日、遂に伊佛露を初め世界大小國の嘲笑の中に終りを告げた。思ふに、今回の會議は、正に老廢せんとする大英國と、無限の精力を包藏せるやに見える米國とのかけ引きであつた。前者は膨大なる殖民地とその通商路をいかにしても維持せんとする消極的な惱みをありありと現はし、そこより死物狂ひの強硬論をふり廻し、米國は侵略に燃ゆるが如き積極的態度に出た。吾々はこの三國會議において帝國主義國家の苦悶懊惱をはつきり見る事が出來る。このつかみどころのない樣なしかもその中に噴火口を有してゐる樣な國際關係は、かの製艦業者が祝盃を擧げた樣に各國をして互に他國と兵備を競走させ、國民に反動教育就中軍事教育を強制するものではなからうか。吾々はこの世界戰爭の萠芽を警戒しなくてはならぬ。

吾々は帝國主義者の爲めに××××すする事はきらひだ。

吾々は帝國主義の製艦競走にその負擔をになふ事は嫌ひだ。

吾々は軍備縮少、戰爭反對の旗を高く掲げよ。

之は全世界の勞働者、農民階級の熱烈な叫びである

府縣會議員選擧と共同戰線の必要

內閣が更る度に地方長官の移動は附き物であるから、あながち政友會政府に限つた事では無い。政友會政府は先に府縣知事を初めとして、內務部長、警察部長の大々的更迭を行ひ、今亦全國の警察署長の大移動を實行した。如何にその云ひ譯にうまい事を云つても、それが黨派擴張の、即ち九月に迫つた府縣會議員選擧や、來春の國會總選擧にそなへる爲めである事は、各人のうたがはないで肯定するところである。從來の內閣にとつては、無産政黨の活動する選擧に會つてゐなかつたから、その干涉も、同じ仲間であるブルヂョア政黨に對するそれであつたが、今やプロレタリヤの政治的進出の勢力に直面する今秋の選擧は、政府にとつてはその今秋の意義が一段も二段も、否百段も加重して來たのである。プロレタリヤ黨とブルヂョア黨とは、その階級的利害が相反してゐる事は明白であるからブルヂョアジイが盛んに法規を惡用し、惡法をかざして彈壓を加へてくるのは見易き事である。

今秋の選擧は從來とは大いに異つて普選による（それは不完全な制限的なものではあるが）選擧である。即ち、從來の選擧では、市町村公民で一年以來其の府縣內で直接國稅を納めるものでなければならなかつたのを、普選は市町村公民のすべてに選擧、被選擧の兩權をあたへたのである。市町村公民とは。

一、日本國民たる男子

二、年齡二十五歲以上

三、滿二年以上引つゞき同一市町村に住居すること。

以上であつて從前に比して約三倍の有權者の增加を來たしたもの〻、極めて制限的なものたるを免れない、されば無産政黨は全選擧權の擴張、立候補に要する供託金の廢止を要求してゐる。だが、しかし、その增大せる選擧權者は被抑壓階級が絕對的多數を占めてゐる。此處に無産黨の發展の無限性がある。

去る七月十三日の島根縣の縣議補缺選擧は、制限選擧の下においてすら、無産黨の候補者は八百票の多數を獲得した。この事は、稅に泣き、沒落過程にある中産階級がプロレタリヤ的利害に向ひつゝあるかを如實に示してゐる。この成功は今秋の選擧に乘り出すべき旣成政黨の候補者達に云ふべからざる不安を與へたのである。かうした狀勢を前に控へての反動政府と云はれる政友會政府が空前の干涉選擧の準備にとりかゝりつゝある事は怪しむに足らぬ事である。ひるがへつて見れば、ブルヂョア政黨も、かつては藩閥政治の彈壓と戰つて血を見る慘事を演じてゐる。吾等とて、あらかじめ暴壓に屈すると

ころあるも、公正なる選擧確立の爲めに選擧干渉絶對反對のスローガンを高く掲げなければならぬ。

政友會は一方こうした干渉政策をもつて望むと同時に、種々な欺瞞政策を掲げて、即ち、力とパンの一片とをもつて大衆を引寄せ我黨內閣の夢に醉はんとしてゐる。

例へば自作農創定政策とか、

（この案の非無産階級性はすでに論議しつくされてゐる。即ち地主は高い値段で小作人に賣りつけふところを重くし、政府は小作人に低利資金を借して毎年小作料に相當する利子を、地主に代つて强制的に取立てようとする）

或ひは地租移讓とか、

（地租移讓は政友會多年の一枚看板であるが、本文執筆の時はまだ閣僚の間に移讓の客體を市町村にすべきか、府縣にすべきか決定してゐないが、そのいづれにもせよ、彼等はそれによつて穴のあいた國庫を緊縮によつて埋めようとはせず增税主義で行かうとするであらう事は、積極政策だけに分り切つてゐる。郵便料金の如きが不都合にも値上げされる模樣を見ても、彼等は一般大衆の重き負擔を要求するのであらう。中央はかくの如くであるが、地方は七千萬圓の地租移讓によつて樂になつたかと云ふとそうではない。彼等は一般大衆を苦しめてゐる惡税の廢止を聲明してゐないのである。）

或ひは利權政策とか、

（地方の地主や資本家に棚ボタ式の利益を與へる建主改從とか、稱する鐵道政策とかゞそれであり、土木事業も。）

或ひは地方分權とか。

（田中義一を會長とする行政制度審議會は、大衆の自治獲得の要求を有せるを見て、知事公選とか、知事の止むをざるものを除く原案執行權ノ廢止、府縣會の議決權限の擴張など大衆向きのすることをならべてはゐるが、それは羊頭を掲げて狗肉を賣るものである州廳設置案を見よ。日本を六州に分ち强大な專制權力を有する州長をおき、課税權、出兵請求權とかを與へるといふ、反動內閣の立案するものはすべて××だ、自治權擴充案の本質を曝け）

吾人は政友會の夢を荒々しく打破らねばならぬ。腐れた菓子は如何に立派な器に入れても腐れてゐる事は以然として變らぬ。吾々はこの腐れた菓子を曝露しなければならぬ。府縣議選を前に控へて黨の大きな任務は活潑な曝露をする事である。

大衆に納得出來る樣に平易なる言葉をもつて、既成政治の罪業の數々、中央權力の代理人たる官僚の社會運動暴壓の事狀、巨額の警察費の行方、利權屋議員によつて企てられる土木事業の正體、惡税の正體、即ち自轉車税、戸數割、家屋税、荷車税、特別地税等は何人に負擔がかゝるかを宣傳しなければならぬ。

さて、吾々の掲げるスローガンは

地方自治權の確立、

知事の公選、

惡税は資本家地主に負擔させよ、

金權政治の打破、

吾々は信じてうたがはない。即ち、最も大衆の結成すべき機會を、具體的問題を、地方的特殊事狀を完全にとらへ、敏速に立働く黨が勝利を得る事をうたがはないのである。吾々は政黨員にあらざる第三者として、暴壓に直面して各無産黨が、少なる黨派的觀念にとらはれて、この好機會を完全に戰ひつくさずして空しく逸して了ふのを恐れる。一般大衆の間に一種の失望のみなぎるのを恐れる。よし當選せず、勝利を得ずとするも、プロレタリア階級としての統制があつたなら大衆は決して失望はしないであらう。吾々はこれを各黨の幹部に要求し、大衆に要求するものである。

支那安定と列強の野心

內外の輿論の大反對にも關らず再三支那出兵を斷行してその度量を示した田中內閣は、先に東方會議を開いて支那への帝國主義的進出の爲め最善の策を考究した。

・滿蒙における日本の歷史的利權地位を覆す如き事狀になれば、何國と雖も躊躇せず、斷々乎として積極政策に出づるといふ事は、今更初まつた方針ではないが、それがより一步進んで綿密な進出が初まりかけた。多年積極論者として名高き政友會の山本條太郎を滿鐵社長として赴かしめ、過般の東方會議において決定せる滿蒙鐵道計畫を、滿鐵の手によつて敷設に着手する事に決した。その鐵道計畫は六線に亘るもので、即ち、一、吉會鐵道、二、洮齊鐵道、三、洮学鐵道、四、大賚鐵道、五、新林鐵道、六、賓里鐵道等である。

滿蒙の軍閥、支那民衆の敵張作林と結び、かゝる浸出政策に出でた田中內閣は、一方社會民衆黨の宮崎、松岡の兩名を蔣介石の膝下に赴かしめ、その墮落を勸告したのである。日本の無産政黨の一翼と稱する社民黨の代表の行爲は支那新聞紙の一勢に報道し、支那大衆をして長嘆これを久しうせしめた

支那は無限の富を包藏する大國である。かるが故にこそ帝國主義國は垂涎し、飽く迄支那を自己の藥籠中のものたらしめんと努力してゐる。それは表面にては如何に親善の假面をつけてはゐても、愈々最後のドタン場においては力による支那政策に早變りする。南京政府が關税自主を實行せんとするや、ひたすら關税自主の要求に好意あるものゝ如く裝つてゐた各國は、武力によつてゞもそれを阻止せんとするの態度に出でた。各國は支那の政狀の安定するまではと言明してゐるけれど、豈はからんや、支那の××は各國の干

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

渉の結果である事を知らねばならぬ。

例へば日本政府は日本の資本企業者の利益に結べる者による安定でなければ決して默してはゐないであらう。國民革命黨による支那安定が正にその緒につかんとするや、すでに日本政府は張作霖を助けて支那の動亂を××したではないか。彼等の云ふ支那の安定とは帝國主義野心と相對的なものであつてはならぬ。されば各資本國の望む安定は斷じて支那民衆の利益と一致するものではない。支那は××によつてのみ解放される。帝國主義國家に對する絶へざる××××は、帝國主義國家の手先である軍閥を倒し支那大衆の安定を圖る前提ではあるまいか。

こゝに安定の意義は二つに分れる。

資本主義國家の云ふ安定とは搾取國として甘んづる安定である、日本政府はかゝる安定を現實のものたらしめんが爲めに出兵し、或ひは滿蒙積極政策にまで進出する、見よ、來年度の滿蒙豫算は倍加して七千萬圓に上つたではないか、來議會に提出する田中内閣の支那動亂保險案とは、日本資本擁護の爲めであり、その一千萬圓の資本は何人が負擔するであらう、一から十まで無產階級の負擔である、吾が國プロレタリヤは共通の敵に戰ひつゝある支那大衆の爲め、搾取への安定を確立せんが爲めの對支出兵に××し、滿蒙政策に××し、支那動亂保險案に××しなければならぬ。

即時、撤兵を要求せよ。

死刑反對罷業の意義

米國におけるアナキスト死刑反對運動は全世界に一大センセイションを播きおこした、アナキストも共產黨も共に立つて、爆弾騒ぎするを演じた、八月九日は約七十五萬人の勞働團體が一せいに同情罷業を行なつた、パリ市においても一千のタキシー運轉士が怠業を初めその他各地において勃發した。

伊太利人ザッコ、ヴアンゼッチ兩名は不當なる刑事政策によつて死刑を宣告されたのであつて、各國の共產主義者も無政府主義者も、かうした反動政治の陰謀を自ら親しく體驗してゐる所であるから、かくまで同情、死刑反對の擧に出でたのである。

無產階級に對する彈壓は世界共通の現實である。

日本においても、こうした事件は數回にわたつて行はれてゐる。

例へば朴烈事件、福岡水平社の聯隊爆破事件とか、等々。

福岡水平社事件を見よ、一人の水平社同人が同一時刻に數里離れた某所と某所の二三ケ所に現はれてゐる、幽靈ならずばこんな離れ業は出來ぬ、これが文明國の裁判所が調べた事である。

こうした陰謀的な××××は枚擧に遑ない程である。

無產階級の擡頭は、自由を健國の礎とした米國の資本主義を恐怖させ初めた、自由主義を嘗つては基調とした資本主義が次第に反動へと結成して行くのは必然の然らしむる所である。

二人のアナキストの死刑は、かくして黨派を超越して全世界プロレタリヤの一大問題となつた。

協調組合多しと稱せらるゝ米國に今や七十五萬人の膨大なストライキが行はれつゝある、四萬の警官は裝甲自働車や機關銃をもつて警戒し初めた。

吾々はこのストライキの世界的意義をはつきり見極め、何等か期する所あらねばならぬ。

米價調節は誰の利益か

川崎造船所や、鈴木商店等がたふれてから、失業者は急激に多くなつて來た、政府はこうした失業者を少しも救濟しないばかりか、反つて彼等を危險視したり（例へば川崎造船所の解雇職工の會合に彈壓を加へたり）彼等に食ふ事すら拒否せんとしてゐる。

米價調節の運動を見よ。

大地主連の策動によつて、そのあやつり人形は、米價低落せりとして、十月三十一日迄免税されてゐる外國米に八月十二三日から關税を復活し、內地米を百萬石政府から買上げる。

これは政友會の今秋の府縣會議員選擧に望む人氣取策だと云はれてゐる。即ち、地主や中產階級の御機嫌を伺ふ爲めである、が、しかし、

此の夥しき失業者をどうするか、賃銀低下の聲に刺戟される勞働者をどうするか、土地を取上げられた小農民をどうするか。

米は奢侈品とは譯が違ふ、米を食つて初めて生存がある。その米を政府の人氣取や、地主の爲めに値上げされる事に絶對に反對だ。

米價の吊上げによつて農民は利益を受くるか、農民は買ふべき米をもたないのみか、プルヂョア制度の下においては勞働階級と同じく一家である。よし、三俵や四俵の米を賣つたとてその利益は微々たるものであり、やがて縣會や國の税金の形で取立てられ、支配階級の利益の爲めに使はれて了ふ。農民も、勞働者も、サラリマンも、失業者も、小市民も立つてこの米價吊上策に反對しなくてはならない。

物價指數から見れば、現在三十二三圓を穩當とする米價が、今日中央市場においては三十七八圓であり、（生產地にては二圓程度安い）低落せりと云ひ難きに關らず進んで吊上げを策する眞意はいづくにあるか。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

同愛會解散と其の罪業

華族有馬頼寧が同愛會を作りて、政府の内命を受け、多年我國の水平運動を切崩して随落せしめんと企て、つひに或る一部の分子はその魔手にかゝつた。同愛會が羊頭を掲げて狗肉を賣るの反動團體である事は天下周知の事である。尚彼等は水平運動のみに限らず其の豊富なる資金をもつて、鈴木文治平野力三等を使嗾して軍閥の御用團體を作らしめた事に徴しても、憎むべき我等の敵である。

その同愛會はその内部の紛亂より解散した、然るに、恥を知らざる彼等は解散後も方々から多額の補助金を取つてゐる、同愛會が内務省から毎年五萬圓、住友より二萬圓、澁澤から二萬五千圓、岩崎から五千圓その他方々からこの様な金を集めてゐるが、奇怪なるは同愛會の實際の費用は月千圓にもならない、この點よりおしても、彼等が口に水平運動の向上を叫び裏面において私腹を肥してゐるものと云はねばならない。

何の水平運動だ、華族有馬頼寧の人氣取り政策の同愛會はその云ひ譯はどうあらうとも、そは即ち永遠に搾取と屈辱の淵につきおとしつゝ、欺瞞を弄して反動團體にまで引上げ崩れんとする自己の地位を保たんとするものではなかつたか。

水平運動の過根同愛會の遺物よ、速かに消へて去れ。

土地開墾か先きか 小作法制定が先きか

三土忠造の頭痛の種となつてゐる各省の二億圓に上る經費を要する新規事業の中に、産業立國を標榜する政友會の看板大規模國營開墾、耕地開墾助成の促進、既耕地改良が目につく、これらの案は政府の所謂食糧の充實策であつて、國營開墾とは、毎年一萬町歩づつ二十五ケ年かゝつて二十萬町歩を開墾し耕作地にする豫定であり總經費三億圓で、明年度は豫定開墾面積の半分の五千町歩を百三十萬圓の經費で着手するといふのである。

耕地開墾助成法は投下資本の利子補給の意味で明年度より増額して、主要工事施行費は事業總經費の二分の一を着手の當時交附し、他の工事は投下資金の百分の八づゝ年々交附して民間の開墾を助成する。これは四年度から實行される。

既耕地改良は排水、暗渠事業に補助金を交附し、その面積は三千七百町歩である、明年度の經費六十二萬圓、耕地整理土地改良の補助額も増加して新に明年度は一萬五千町歩の工事費の一割五分の半額五十六萬圓を支出する。

以上の三つが食糧充實施設の概要である。

さて、開墾事業大いによし、既耕地改良も大いによし、しかしながら、農村の状勢を大觀するに、農家經濟は極度に行詰つてゐる。農民は爭つて、資本主義の隆昌を極めた時代には、こぞつて農を捨て都市に去つたが、今や都市産業の行詰りと共に、彼等は農業を止めたくとも外に仕事はなく、仕方なしに農業に從事してゐる。

農民生活の悲慘な原因は、小作制度の老廢、農業資金の缺乏、農業制度が資本主義化するに困難なるにかゝはらず、資本主義の絶對的支配の中にあるからである。

農業振興政策は農民の生活の安定を與へて初めて立論せられる。後に亡びゆく農林を控へて、土地開墾して何程の効果あるや。既耕地改良も獎勵しなければならぬが、改良することによつて小作料を引上ぐるが如き事あつてはならぬ、從來の改良は只土地所有者の利益を受けたに止まり、農民は如何なる施設にも恩惠を受けてゐない。政友會の農村政策は農民の要求や實生活に何ら觸れてゐない。彼等の眼中地主あつての農民である。農民に重き負擔を課する事は知つてゐても、彼等はこれ以外の事は知らないのである。

農村に最も急を要する小作法すら彼等は立案しようとはしない、小作法は耕作權の法的確立を期するものである彼等は小作法に先だつて自作農創立案を出す、土地價格の下落を恐れるからである。彼等とても、地主本位の小作法なら立案するであらうが、そうする事が必ず輿論の大反對を受け、農民獲得の野心を遂行する事が出來ない爲め欺瞞政策を掲げて小作法の制定を障礙する。

吾々は小作法の制定を要求す。

戰術政策の投稿希望

今や我が國の無産階級運動は、複雜なる發展を遂げつゝある。隨つて資本主義に對する認識の相違より、その戰術、その政策は益々多岐ならんとしつつある。我が「進め社」はこの秋に當つて、我が國無産階級運動の正路を指示すべく、紙面を開放して本問題の討論を開始せんと欲する。何黨、何派に限らず自己の信ずる意見をどし〳〵御投稿下されん事をお願ひする。

一、文章の長短は隨意
二、成可く一行十七字詰にされたし
三、〆切りは九月十日
四、宛名は東京府下大井町鈴ケ森「進め社」編輯部

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

府縣會選擧に何故戰ふか

羽田光雄

一 選擧干渉の準備なる

府縣には府縣知事があり、府縣會があつて地方政治が行はれる。扨て、その府縣知事とはどんな事をするかといふに、中央政府の手先をつとめて府縣大衆の上に君臨してゐる。中央政府が代る度に定つて知事の大更迭がある。今度の政友會の內閣になつてからも多分に洩れずそれがあつた。知事ばかりではなく內務部長警察部長、警察署長の全國的大移動もあつた。これに依つて見ても如何に府縣行政官が地方民の利害より先に、まづ中央權力の高等政策の執行人になつてゐる事が分る、中央政府が自分の都合のいゝ官僚をもつて府縣行政を固めるのは、總選擧及び府縣議選擧の場合においては大々的に干渉をやり、平時においては種々な利權政策、欺瞞政策を行なつて自黨の黨勢擴張を圖ろうとの考へからである。今度の政友會の移動政策も、九月の府縣會議員選擧にそなへ、亦來春の總選擧にそなへんが爲めである。本文が發表される頃は、府縣議選は白熱化してゐる事であらう。殊に今度の選擧は普選によるそれであるから、亦各無產政黨の巧妙な策戰とによつて大混亂が豫想される。それだけに政友會政府は徹底的彈壓を、無產黨に向つて試みるであらう。

私はこうした時節を顧慮して府縣行政の罪惡を簡單乍ら述べて行かうと思ふ。

府縣は普通自治的なものだと云はれてゐるが、實はそれも中途半端な不徹底なもので、中央より派遣された官僚と、制限選擧によつて選出された議員（地主や資本家ばかりの）によつて組織される府縣會とによつて政治が行はれる。卽ち、中央權力の代理人は、府縣民の負擔する府縣稅を惡用して黨勢擴張を企で、ブルヂョア政治の亂舞をつゞけてゐる。一方府縣會は從來制限選擧によつて構成されてゐた。卽ち制限選擧とは普通選擧と相對的に使用される言葉であつて、どんなものであつたかといふに、選擧權は、その府縣內の市村町公民であつて、一年以來その府縣內で直接國稅をおさめるものでなければ無いのであつた。ところが、今度の選擧からは府縣內の市村町公民でさへあれば選擧權がある樣になつた。が、その市町村公民なるものが種々な制限を蒙つてゐるのであつて不充分なものであるが、それでも今度の選擧からは非常な大多數の人が選擧權を得る樣になつて、從來貧農、勞働者に固く門戶を閉してゐた府縣會に初めてその代表者を送り得る樣になつた。されば無產黨がその極端な壓迫下にあつて、色めき立つ所以である。無產黨はこうした不充分な普選に不滿を抱きもつと徹底的なそれを要求してゐる。例へば大選擧區制の採用とか、供託金の廢止とか、年齡を十八才以上ぐらゐに擴張する事を要求してゐる。

二 府縣行政の罪惡

吾々は府縣自治の確立を要求し、中央權力の專制的支配から解放を企でるのだ、中央權力の代理人たる知事は一般府縣民による公選知事と取つて代へねばならぬ。地方大衆は、專制的反動的な官僚知事を嫌惡し切つてゐる。縣の事は縣會で定め、府の事は府會で定めねばならぬ。かるが故に、吾々は府縣行政への內務大臣、大藏大臣の干涉に反對する。卽ち、內務大臣の道府縣會解散權、豫算削減權の廢止、並びに大藏、內務大臣の道府縣起債許可權の廢止を要求する。又知事の原案執行權の廢止も要求する、出兵要求權の如きを廢止せねばならぬ。

吾々は現在の警察行政に對して反對せざるを得ぬ。卽ち、警察の主要任務は今や社會運動の彈壓に向ひつゝある

目を醒まして吳れ

西村天津兒

○

君の額はまつ黑に染まつたではないか
然しやせ衰へたその疲勞のさまよ
日の赤く血走つて居ることよ

○

君の全身から汗が流れて居る
百度の炎天に燒かれつゝ
燒石のやうな砂上に
君の足は蒸し返つてるではないか

○

のんどを潤す一滴の水も與へられず
朝の夜から君の手に與へられるは
スコップとツルハシではないか

○

君は終日血と汗の提供を強いられて居る
それを君は三度のパンの報酬だ
とあきらめて居るのか

○

おい、貴樣は盲目なのか
いや、君も俺達と同じ人間ぢやないか
君は階級意識に盲目なのか
居眠つて居るのか

○

おい兄貴、もう俺達の日が來たのだ
早く目を醒まして吳れ
おい兄貴、早く目を醒まして吳れ

一九二七・八、七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農民大會、演說會、示威運動、メーデーに警官の人垣は作られる。大衆を彈壓する機關の爲めに大衆は重き負擔に惱んでゐる。從來の制限府縣會はブルヂョアジイの巣窟であるから、彼等は官僚知事等と安協し、所有地の小作爭議を××する爲めに、巨額の警察費を大衆の間から××取るのである。

從來、政友會が內閣を取ると、政友系の府縣會議員が勢力を占め、反之、憲政會の時代になれば憲派の議員が勢力を占める。それは中央政府の利權政策の前に叩頭する事が、利益に目のないブルヂョアに滿足をあたへるからである。その爲めにブルヂョア政府の黨勢張政策は利權政策であつた。

吾々は今や熱烈な鬪爭によつて府縣會を大衆のものとなし、完全に地方自治を獲得しなければならぬ。

三 府縣稅の行方

今迄は府縣民大衆は苛酷な負擔の下に苦しんでゐた。されば吾々は惡稅の廢止を主張する、ブルヂョア政治の下においては、それが國稅であらうが、府縣稅であらうが、亦村稅であらうが、富者資本家に輕く、大衆に重い、それはブルヂョアジイによつて獨占された政治組織の下においては止むを得ぬ事である。だが、しかし吾々はこの問題をとらへて鬪はねばならぬ。こうした問題は直接大衆の利害に關係のある事であるから、大衆を吾等の陣營に引寄せるに最も好箇の題目である。

ではその惡稅と稱せらるゝものゝ正體はどんなものか、上に輕く下に重く勞働階級や小農階級に過重なる負擔を求むるものはすべて惡稅である。曰く戶數割、家屋稅、自轉車稅、荷車稅、特別地稅等々。

吾々はすべての府縣費用は資本家地主の負擔たらしめねばならぬ。こゝにおいて、左の如き諸稅を新しく作り增稅する事を要求する。

曰く、遊興稅、庭園稅、別莊稅、門稅、高壯建築稅、蓄妾稅等々、亦、ブルヂョアジイに對する租稅の高率累進賦課等。

さて、吾々は從來無產階級の厖大に負擔して來たつた府縣財政は、如何なる仕事をなして來たかを檢討しなくてはならぬ。府縣議選に望む無產黨はこの徹底的曝露なくして府縣大衆を引寄せる事は出來ぬ。

昨年の府縣歲出は(北海道も含む)約三億七千九百萬圓である。國民一人あたり六圓三十四錢にあたる。

どんな風に使はれてゐるかといふに土木費が一番多い。次が敎育費、警察費、勸業費、公債費といふ樣な順序である。その額を列記すれば。

土木費、	九千七百萬圓
敎育費、	九千六百萬圓
警察費、	七千三百萬圓
勸業費、	三千九百萬圓
公債費、	二千七百萬圓

こゝの中で土木費が一番曲者である。土木費とは、道路費とか港灣費とか、河川費とかいふものである。土木事業は往々にして黨略的に計畫される。吾吾はこうした黨略的な土木事業を看守

資料

島根縣に於ける縣議補缺選擧

島根縣は去る七月十三日縣會議員補缺選擧を執行した。選擧地は全日本農民組合の本場である能義郡と八束郡で能義郡よりは國須万市君、八束郡からは山本茂一郎君が立候補した。その成績は左の如くであつた。

能義郡

當選	二、五八七票	中原 濤
次點	七五二票	國須 万市

八束郡

當選	四、一四二票	青山濟一郎
次點	三、四八九票	角 米市
	二六七票	山本茂一郎

日本勞農黨の出現は既成政黨に大動搖を與へた。制限選擧の下においてすらこの大成功は、次の選擧に望む既成政黨者流の頭痛の種であらう。

吾々は如何にして戰つたか。金の無い吾々は兩郡の運動費は五十圓に切つめ、專らビラと演說會と、雄辯で奮鬪した。しかし、惜しい事には、吾黨候補の立候補聲明があまりおそかつたのである。もう五六日早く名乘りをあげ、宣傳戰をやつたなら中產階級の來り投づるもの多かつたであらう。

だがこの選擧によつて大衆が既成政治の罪惡を知り、小作人は小作人の政黨に來たらねばならぬ事を銘記した。

左に揭げるは立候補聲明書である。

候補擁立の挨拶

能義郡及び八束郡の縣會議員選擧に際しまして、日本勞農黨及全日本農民組合は共同戰線の下に公認候補として

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し反對しなければならぬ。全然必要のない所に道路をつけたり或ひは二つの道路を並行させたりする巨額の費用を使つて社會的利益は少なく、たゞ利益を占めて喜ぶものは小作爭議に惱み、地價の下落に苦しむ地主のみである。彼等は地價の騰貴によりふところが重くなる。

府縣大衆の租税の重きに泣く一方、その府縣費の最大なる土木事業の名によつて××ブルヂョア地主の救濟が行はれる事は吾々の見逃す事の出來ぬ事ではないか。彼等は時には府縣債を起してこうした事業を臆面なく行なつてゐるのである。

教育費は××教育の爲めに使用され小作爭議の惡化など、頭のかたまらぬ子弟にたゝき込むのである。

警察費七千三百萬圓の行方は如何に前述した通り農村の小作爭議、大衆運動の抑壓に使用されるのである。夜中の立入禁止にコソコソと泥棒の樣に歩いて見たり、無暗に人の後を尾行したりする●

折角汗水たらして納めて見たものゝその府縣税の大部分が譯の分らぬ所に使用され、ブルヂョアジイの野心は滿足され、又それによつて府縣會議員なるものは能事終れりと誇るに至つては、いかで府縣大衆たるもの默してゐられようぞ。

四　我等の戰術

農民には農民の言葉をもつて云へとレニンは云つてゐる。吾々は今度の選擧戰に絶對に必要な宣傳ビラ、新聞、演說、既成政治の曝露等は極めて容易な文章や言葉をもつてしなければならない。所謂自稱左翼の末流がする樣に矢鱈に難解の文字を振舞し、くどくどした云ひ廻しは避けなければならぬ。又、既成政黨者流の常套手段である金力による誘惑買收行爲は極力警戒しなくてはならぬ。

去る十月十二日行はれた島根縣の補缺選擧は制限選擧の下においてすら、八百票の多數を獲得した。黨關係の人の云ふ所によれば、立候補聲明が今少し早ければ、豫想外の成績を得たであらうと云つてゐる。選擧期日間近く聲明を發表した爲め一般大衆に充分その主義政策を徹底せしめ批判考慮せしめられなかつたのが失敗であつたといふ。

無產政黨は既成政黨の金錢萬能論者とは逆つて、口と筆と組織で戰はねばならない。今秋の選擧には公立學校を演說會場に使用出來るから、會場の心配なくどしどし宣傳出來る。腰辨運動員の活躍は、立派な自働車にフンゾリ返らなければ、顔にかゝはる樣に考へてゐる連中とは、信念が違ふ。一絲亂れざる組織的宣傳運動によつて一般大衆の胸中に意識的に、無意識的にあるブルヂョア政治に對する不平不滿を、針を突く樣にして最高潮に迄高めてやらねばならぬ。

大衆的地方自治確立の戰ひの日は迫つた。

府縣民大衆の反抗を赤裸々にブルヂョア政治の面前に發揮する日は來た。

今迄大衆が出してゐた汗と油の結晶が何に使用されてゐるかを暴露する日は來た。

惡税の正體を知る日が來た。

腐敗墮落の施策も、

官僚の罪惡も、

ブルヂョア議員の利權策も、

すべてが大衆の面前に審判さるゝ日が來た。

これが日本の美風か

東京の南千住署の今泉巡査部長が、日本紡、花木ゴム爭議の時、辨當代だと云つて千圓、二千圓と會社から受取つて、爭議取締りにあたつた巡査には五圓、十圓と與へて、巨額の金を着服してゐた事が發覺したが、檢事局が「日本傳來の美風である」と火事場と爭議は同樣なものだとして不起訴した事件は、つひに全勞働階級の一大抗議運動となつて現はれた。これは、單に一紡績會社、一ゴム會社と警察との關係に過ぎないが、資本家的生產の下においては、何處へ行つてもそうだ。それだから、吾々が番犬と云ふのだ。番犬の面の皮はこうして一枚一枚ヒンムカレて行くのだ。痛快、痛快——

能義郡　國須万市君

八束郡　山本茂一郎君

を推薦し、飽くまで階級的立場を嚴守し、一般大衆の眞の要求に立脚し、金權に依存し縣民大衆の利害休戚を無視する既成政黨に對抗することゝ成りました。

たに簡單乍ら我徒の縣政に對する抱負を述べ併せて貴下の御批判と御援助を切望する次第であります。

○

先づ我徒は、縣政は須らく一般縣民大衆の利害を基準として行はるべきものなるを主張します然るに從來の縣政は縣下一部の地主とか金持共が既成政黨と一致協力して縣民大衆を欺瞞し種々なる利權を漁り大衆を踏臺にしつゝ勝手氣まゝな政治を行ひ來つたことは萬人周知の事實であります。

其處で我徒は「金權萬能政治の打破」「民衆政治の確立」を旗印として、社會正義に立脚し堂々と陣を押しすゝめるものでありますが、惟うに、我徒の主張を代表する候補者は、眞に縣民大衆に代つて縣民の福利増進の手段を協議する一般縣民の代表者であるべき筈であります。故に一切の選擧に要する費用は、候補者亦は一部仲間の負擔すべきものに非ずして選擧民の負擔すべきものであります。

既成政黨の候補者は利權と名譽心に幻惑されて自ら多くの黄金をばら撒き、黄金の力をもつて「清き一票」を買收するのを常として居りましたが、我が徒は既成政黨のこの醜き政策を一蹴し、候補者には一厘の私費をも負擔せしめず飽くまで理想選擧を標榜し過去の選擧の最大にして共通なる弊害を一掃する事を先づ冒頭において宣言するものであります。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

府縣會議員選擧戰の役割

岩崎正三郎

一

戰線の方向轉換が唱へられて以來あらゆる無產團體は政治鬪爭に對してそれ／＼の組織を急いで來た。そして今や、府縣會選擧戰に直面して各々その組織と準備の完全か、否かを試みらるべきこととなつた。而もその組織の完不完は一つに各團體内に於ける前衞に十分な活動の餘地を與へ得るや否やの問題であり、そしてまた、前衞がこの解放戰線の一分野を如何に有効に戰ひ得るか否かに關することである。前衞がよく自己の守る戰線が全解放戰線の如何なる分野を占むるかを理解せず、ブルジョア反動の攻擊に對して吾が戰線が如何なる段階にまで進展してゐるかを明確に認識してゐなければそれぞれの組織を最も有効に活用して選擧戰のデリケートな戰を十分に戰ふことは全く不可能なことである。

かゝる意味に於て吾々はこゝに府縣會選擧戰が無產階級解放戰線の如何なる分野に於て、如何なる役割を持つべきかに就て簡單な考察を試みて見たいと思ふ。

二

全面的政治鬪爭に轉換した、といふ吾が階級運動は今、如何なる問題を問題として戰はねばならないか？

それは決して一部極左小兒病派の××の前夜を夢みる全面的鬪爭であつてはならない。吾々とても我が國資本主義が『沒落する世界資本主義に合流して』その沒落の過程を共に步みつゝあることに對して異見を持つものではないが、しかし資本主義沒落期の特徵たる帝國主義的資本の組成に於てまたそれ自身建設時代と崩壞の時代とを持つことを認めざるを得ないのだ。

ともかくもそれが新しき機構を組立てつゝあるところの『資本の安定』に對する無產階級の對抗戰術は決して資本の世界的動搖の時代に採つた戰術の其まゝの延長であつたり、當時のロシア戰術の受賣りであつてはならない。

見よ、さしも全世界プロレタリヤの多くの期待を荷ふた支那革命も今や外國資本の惡辣なる分裂策によつて停滯情態に陷り、その間たゞ北方軍閥の反動化を激成してゐるのみではないか。アメリカ資本はます／＼それが安定の基礎を擴大してゐるではないか。企業界に於けるフォーディズムの風靡、勞働銀行の金融資本團への隷屬を見よ。ドイツ、フランス等に於ける產業合理化の進展を、また、モラトリアムによつて危く急場を逃れ出で、陣營の新たなる組織を組立てつゝある日本資本主義の反動政策なる發展を見よ。——對支出兵、地租移讓のからくり、三十億の自作農創定案、洲廳制度案、拓殖省の新設案。

更にロシアの新經濟政策採用以來の妥協政策——客觀的條件との可及的調和——は何を敎へてゐるか。國際經濟會議への出席××的プロレタリヤに直接訴へることを避けた英露兩國組合の合同協議會の存續、發展等。かゝる一般的情勢に於ては××的口吻を以て紛飾せられた觀念的煽動では大衆を獲得することは不可能事だ。

大衆を獲得し得るものは日常利害の問題をとらへて、長くその崩芽期に低迷してゐた民衆の自由の欲求を高く引き上げて行かねばならない。資本の部分的安定が生むところの民衆負擔の加重、搾取の强度化に對する不平をこのナエーブな自由の欲求に結びつけることによつてのみ眞實に大衆を吾等のものたらしめることが出來る。こゝに於て一先づ日常利害の反目をブルジョア民主々義の獲得に結合し、利用して行かねばならないのだ。

三

我が無產政黨當面の任務がブルジョア民主々義獲得にあることに就ては何

○

我徒は既成政黨の如く黃金の力をもつて大衆を買收し、甘言を以つて大衆を瞞着し大衆の淸き一票を奪はんとする野心は毫もないのであります。我徒は堂々と縣政改革の方針を示し、我徒の主義主張に贊する諸君の心からなる淸き一票を望んで止まないのであります。

○

今や我國資本主義も世界資本主義の沒落に合流して、日一日と行詰りつゝあるのであります。資本主義が行詰つて來るにつれまして、支配階級は益露骨に彼等にのみ都合のいゝ政治を行うでありませう。一般民衆は働いても働いても資本主義が行詰まるにつれて、生活は益々困難に陷つてゆくことは火をみるよりも明かなことであります。

國民の最大多數を占むる無產大衆は飽くまで大衆共通の利害の下に結束し法律制度の改廢に努力するは勿論、縣政の無產階級化にも全力を擧げて努力してこそ始めて解放の良き日が訪れるでありませう。

○

民衆政治の樹立は何よりも民衆の力に俟たねばなりません。貴下が眞に民衆輿論政治の樹立を望み、金權萬能政治の打破を望まるゝならば、眞に民衆の輿論を代表する我徒の候補に淸き一票を投ぜられることを我徒は確信するものであります。黃金と一切の情實とを放棄して勇敢に民衆政治の確立へと進んで下さい。

我徒は誓つて金權政治の打破と前揭政策の實現につとめるものであります。今や民衆の時代は近づきつゝあります。未來は民衆の時代であります。

人も異存のないところであらう。しかし、民主々義の獲得がそのまゝ機械的にプロレタリヤの解放を結果するとなすが如き日和見主義は勿論、民主々義の獲得を辯證法的必然?によつて×××にまで止揚?せんとする觀念論も亦無產政黨の行くべき眞實の道を甚しく誤らしむるものである。

民主々義の獲得はあくまで民主々義獲得であるがこれが獲得の過程に於て無產階級をしてその地位を高めしめつゝ眞にブルジョア民主々義獲得のチャンピオンたる基礎を築かしめることでなければならぬ。かゝる基礎を築き一般大衆の指導權をその手におさめることの出來る時、はじめて無產階級の階級的鬪爭力を十分に發揮し得て資本の部分的安定をますゝゝ狹隘不具なものたらしめ『××××』への飛躍的發展を必然ならしめ得るであらう。

四

しからばこの無產政黨の任務遂行のために府縣會選擧戰は如何なる役割をもつべきか。

先づ今日の各府縣が如何に強く專制的中央政府のための民衆の桎梏となつてゐるかを府縣民大衆に訴へなければならない。府縣費の大半を占める教育費は民衆の實生活と何等關はるところなき金融資本の獨裁下にある文部省の命令によつて民衆の實生活に何等役立たざる中等學校その他ブルジョア教育に浪費されてゐることを、專制的中央政府の出張所長に過ぎない知事の原案執行權と腐敗せるブルジョア府縣會とによつて多大の土木費が大地主、資本家の利益にのみ利用されてゐることを、民衆を日常最も露骨に搾取してゐる諸縣税の改廢要求に結びつけて府縣民大衆に訴へねばならない。だが、かゝるブルジョアの暴露は如何に抽象的に説かるゝならば斷じてその效果を擧げ得ないであらう。日常最も手近に觸れてゐる具體的問題を擧げ、それに依つて大衆の反對、不平を推進せしめそれをして必然に對立するブルジョア政治の支配に強く對立せしめて行かなければならない。そして一人でも多く府縣會に吾々の代表者を送ることはこの對立をますゝゝ具體的に鮮明ならしむる所以なのだ。

左に八月一日縣會改選を前にして發會式をあげた日本勞農黨栃木縣支部聯合會の政策を參考のために記す。

一、特別地税の撤廢
二、營業税賦課法の改正
三、家屋税賦課法の改正
四、家賃の合理的値下げ
五、荷車税の廢止
六、人力車税の廢止
七、自轉車税の廢止
八、牛馬車税の廢止
九、蓄妾税の創設
十、特別戶數割の改正
十一、小作料の合理化
十二、最低賃銀制の確立
十三、職業紹介所の一般化
十四、公設無料診療機關の設置
十五、獎學基金の使用の公正
十六、煙草元賣捌の公營
十七、健康保險法の改正
十八、農村振興僞瞞政策一切の排擊

見物席から

勞働農民黨は、革新黨となら共同戰線を張らうといふ。學校出の小倅ッ兒そのくらひのところで落着いた方が、親孝行といふもの。どうせ頭の中で理論を弄つてゐる連中だもの我がまゝ云ふのも無理ないがさりとて、日勞黨との合同は幹部を追出して來れば手下にしてやらぬと仰言しやるにおいては、チト虫が良すぎるわい。日勞黨の幹部株も合同には異存がないが、勞農黨の幹部株と大同小異の考へ方で左翼小兒病者の排斥なくばとある。いづれも自分の地位を考へての事だ。組合や政黨を離れたら、無力な仕事の出來ないイクヂのない連中だもの無理もない。さて有條件合同よろしが、その小兒病とか、ダラ幹の標準は何處あたりでケリがつく。おそらく小作爭議より永びく。それよりも無條件合同する事ぢや。それが政黨を離れては仕事の出來ないお前達の身の爲めにもなり無產階級の爲めにもなるのぢや。

（天下の浪人）

○右取敢ず挨拶まで　頓首

政策

一、府縣會議員選擧權擴張
一、知事の公選
一、知事原案執行權の撤廢
一、金權萬能政治の打破
一、公正なる選擧の樹立
一、優良町村の表彰撤廢
一、產業組合の無產階級化
一、地方費補助金の社會化
一、馬車荷車、自轉車税の廢止
一、產米檢査の撤廢
一、雜種税の改廢
一、興業税觀覽税の撤廢
一、家屋税の改正
一、不在地主の同率課税
一、庭園税、廣告税の累進賦課
一、補習教育の普及と自由化
一、圖書館の擴張
一、青訓、青團、處女會の改革
一、興學資金の無產階級化
一、公衆會館の新設
一、衛生設備の充實
一、醫師の暴利取締
一、神社佛閣の廢合
一、電氣料の値下
一、消防組織の改正
一、官僚思想宣傳事業の撤廢
一、娯樂機關の擴張

私達は活潑なる鬪爭によつてよし當選せずとも勝利を得た。

演説會を村民大會とたし、我等の候補者を支持するの決議をし、ビラは全村を雪の如くうづめた。ビラは極めて分り易い樣に書いた。

選擧本部には青年部を動員して各村と秩序正しき連絡が取られ、終始一貫組織的宣傳戰をした。

（島根、T生）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

親善の裡に潜む 罪業の評價（三）

牛窪愛之進

二、亞片戰爭

吾曹は玆に史的分割に於ける『近代支那より現代支那へ』——社會的見地により分類せば『自活の支那より奴隷の支那へ』の一大轉機たる亞片戰爭の批判的論述を爲すに當り吾曹の人類見地より爲したる批判が最も公平にして誤らざる檢討なる可き事を論證して資本罪業への斷案を下さんが爲め該戰爭の根本原因たる亞片の特質及び支那に於ける亞片欲發達の起因、經路に就て詳說し動す可からざる證據に前提する

一、阿片の特質及び慣用の害
二、阿片慣用に至りし時代
三、英國の亞片政策實施
四、阿片の產地と其供給系統

亞片（Opium）は原名は opyun と稱するアラビア語より轉訛せるものにして支那には別に『鴉片』又は『阿芙蓉』なる語がある。

植物性褐色の粉末にして其原は罌粟の實より採取したる液汁（罌粟の開花後二三週を經て果實所謂ケシ坊主の表皮を切りたる傷口より滴り落つる）を凝固乾燥せしめて製するものにして異常なる臭氣を有する麻醉性の毒物である。主成分はモルフイン（Morphine）にして阿片百分中三乃至二〇のモルフインを含有し其動物的生理作用は腦髓の智覺中樞を犯し之を麻痺せしむる物にしてこの毒物の作用によつて反應する徴候は先づ頭痛によつて眩暈を感じて昏睡に陷り呼吸、脈膊は不整微弱となり、瞳孔は縮小して皮膚は蒼白に變ずる。

是に其の急性的反應にしてか丶る微候の繁覆（吸煙の慣用により）は身體を愈々衰弱せしめ中毒を起し所謂慢性に陷る、支那人はこれを『〇』と云ふか丶る狀態に結果する時は偶ま何等かの原因により亞片の供給絶へてモルフインの氣消滅せば意識は朦朧とし來り一種の阿呆となり、藥劑モルフインの注射を行はざるか又は如何にしてか手を盡し亞片を求めざる限り衰弱は亢進し精神に異常を呈し結句死を招くに至るものである。

支那人は阿片を喫煙料として嗜好し所謂『快味無双の夢遊天地』に快樂を求む。結果前述の如き中毒に墮り產を失ひ肉體を害し精神を傷ふて生命を失ふ。

然らば玆に問題が生じて來る『か丶る弊習に墮したる支那の『亞片亡國』は自ら招く自瀆滅亡にして毫も同情の價値なし』と云ふ議論である。如何にもこれは必然的に發せらるゝ批評にして、亞片と支那を單獨に考察し批判するとせば此上檢討を要せざるやに見ゆる問題である。

依つて吾曹はこれより支那が『亞片吸煙と云ふ惡靈に取りつかれたる』時代的考證によりこの自瀆的疾患も正に資本列强が其責の大半を負擔す可き無道の誘發によれる他動的原因にある事を說かねばならぬ。

夫れに先ち、玆に亞片が只に毒物としての處方以外に醫藥として効果ある場合を補足す可き必要を感ずるを以て重複反覆の責を論述順序の一方便に藉りて簡略に叙述する。

眞にこの一項は本論に活力を與へ何人にも首肯を與へ得可き主要なる例を爲すを以つて讀者は論趣に布行する一少事として見逃す事無き樣留意を切望する。

『亞片は之を適量に用ふる時は鎭靜劑及下痢止として有効にして腹部の蠕動機を止め下痢を停止せしめ諸種の疼痛を緩解する爲めに醫業の常に處方するものである』

支那に於ける亞片欲の起因は明にこの藥用として施用し始めたるものにして其本土に入る歷史は至極料しく明朝の滅亡と相前後する時代であるも此時代にありては僅に亞熱帶の南支の比較的開化せる港市に其姿を現したるに過ぎずして其史料として先づ正鵠を期し得るものは當時其の屬領なりし臺灣を經て厦門に渡り福洲より廣東に傳來し夫れより内地に擴大し行けるものとす。時代は鄭氏の亡後なるを以つて亞片戰爭を去る僅に二百年内外の昔に過ぎず。而して臺灣に入りし近因は同島は風土熱帶にしてマラリア熱及痢病の流行甚しき爲是れが豫防及治療に用ふる爲栽培採取の法を學びたるものにして當時の臺灣は高砂島として蘭領ジヤワ方面より各國船の交通繁かりし爲め源は同方面よりの傳法によつて播種栽培されたものである。

亞片が藥用の範圍を越えて喫煙用として用ひられたる動機は甚だ微妙なるものにして凡そ何れの國の人種の間にも快樂欲求手段の轉移を計る場合に生じ易き一種の嗜好作用に外ならず、これに起因して會に攝酒の快味が亢進反覆し行き一種の墮性となり、變じて睡眠を呼び萬現界の腦みと忘念を散ずるの料に用ひらるゝ場合と同じ徑程を採りしものである。つまり藥用として攝取されつゝある間に偶々亞片が支那の人種の趣巧に於て、快樂欲求の心に生理的方面に至然と一致しこれを起點として吸烟に嗜好されて行つたものである、されば此點を以つて支那人を叱責するとせばそは造物。自然の靈妙を叱するに等しきものである、然れば其根

本欲求に就て咎むる如きは問題に非ず要は此快樂欲求の心理的點と生理的の投合に着眼して之を獎勵してこの弊習の資源材料を供給するに務めたるものを應懲するより外はない。

茲に愈々急激なる亞片需用の增大に入る過程を解說する。

藥用としての阿片が風土的に必要とせられ藥賣買業の手によりて福洲方面より廣東に入り僅に數年(十七世紀末)にして交易の爲め廣東方面に往來せる船人の群により阿片紛末より、阿片膏(阿片紛末に果汁或は獸皮と氷糖とを混じて煮沸し製するもの)を製し二三補助具を用ひて吸烟する法が傳へられた。果然この趣巧は支那人に適したるを以て弊習忽ち當時の交民區なる貿易業者のブルヂオア階級に汎行し始めた。茲に布衍する一句がある。

『總ての弊習はブルヂオアより始まる』

然し乍ら初期は海港都市の交易區に施設營業されし煙館に於てのみ喫煙の自由ありしものなりし爲め亞片吸煙は比較的容易を缺き從つて非常に多額の費用を要したる爲之に出入するものは殆んど上流の官吏又は商人に過ぎざる狀態であつて此の秘事は一般民衆の眼には吸煙の徵候の如く朦朧、漠然と意識さるゝに過ぎなかつた。然し乍ら兎も角も秘事として禁制されつゝ至極の趣巧品として傳聞さるゝ亞片に對しては味ははれざる戀の如く萬人が憧憬の眼を見張り始めた事は當然すぎる成行であつた。結句かゝる場合は目的を除く外の總てに對して盲目に陷るは往々有する人生の弱點にして民衆の眼中には副作用として報ひらるゝ可き弊害の顧慮の如きは片影だも映ずるに至らなかつた。

又よしこの反省があつたにせよ『求めんとする欲望吸はんとする心』は夫れ等自省良心を美事に蹂躙し盡したのであつたらう。

かゝる內にこの弊害は各人の家庭に侵入し始めた。かくて老幼、男女の別なく求むるものには與へらるゝに至り貴賤の隔てなく溺れ得る機會が到達するや、奔然として庶民の間に傳播され激甚遂に都市の各階級に流行し始めた。

『資本は此處に着眼した』

殊に英國は其全力を亞片の將來に傾け拾八世紀の末頃より東印度會社の主力を之に傾倒せしめて亞片政策の實行に意を集中した。

宜なるかな英國のこの亞片政策は當時資本英國の双肩に萬斤の重きを感ぜしめたる經濟政策の重大懸案を一擧にして解決するために最も適當したる否缺く可からざる要件なりし爲である。

當時英國は累年鋭意の殖民侵略によつて非常に多額の建設費を要し尙國防攻守の爲(諸種の對外戰禍の爲め)等しく莫大なる國帑を費し財政甚だ圓滿を缺くの狀態であつた。

此の情境を脫する爲めの懸案は屢々國內の議論を沸騰せしめ居りたれど打續く一事件の發生毎に更にその重きを加ふるのみにして良案を得るの途なく只一方の活路として之が資源を對支貿易の積極的行動によりて解決せんと企てしも支那の懷柔甚だ意に任せず、かてゝ對支貿易は英國にとりて片貿易(輸入一方に偏する所謂片爲替の)にある狀態なりしを以つて資金徒に流出し行くのみにして策愈々窮するの場合に至つてゐた。

茲に於て東洋に駐在する通商の諸官をして其の策の人道的たると非人道的たるとを問はず、大英の財政行詰りを打開するに足るものは鋭意研讃せしめて斷行の擧に出づ可く命を發したのであつた。

これ古今軌を一にしたる資本の常套手段であり搾取目的たる對象物の疲弊困憊の如きは何の意に介す可き、寧ろかゝる狀態に陷る時は搾取、支配を行なふの容易なるに至るを以つて侵迫の速進を呪ひ得るを喜ぶ通常なる茶飯事である。

ことに當時はかの產業革命の後を受け現存支配階級所謂紳士閥の瀰漫期なりし爲これ等成り上り者達の群團たる代表議會の協讃は多數の民衆が絕叫する人道的立場よりの反對說の囂々たる正論をも完全に彈壓してこの亞片政策の實施に入つたのであつた。

當時に於ける英國側の記錄に徵しても次の如き輿論の叫が一般英國內地に起つてゐたのであつた。人道!よりすれば當然すぎる程の事情乍ら彼等ブルジオア政府の代辯の行爲と餘りに懸絕したる處に喜悅を禁じ得ざるものあるを以て參考の爲め摘錄する。

『英國の常に外に向つて誇る處のものは領土邦域の大なるに非ず。兵の强大に非ず。國民常住溫謙にして和平を好み、傳統一貫せる紳士道を確取する處である。

然るに今殖民當局の支那に向つて實施する亞片賣込の獎勵策は其の動機に於て最も醜惡にして目的に至つては更に一層の奸惡なり。

是れ千古に芳名を飾る可く祖國の名譽を表彰しつゝ英國民の頭上高く翻々たる。

大英國旗の神聖を汚辱するものである』と

今にして尙支那に割居して搾取の貪欲を恣にする英國の資本家よ卿等の祖先によつて叫ばれしこの獅子吼を如何に傾聽するや。

詭辯は更に反駁するか?

何を以て吸烟の激增に處して商賈の採りたる積極政策をかゝる暴論を以て律するや、と

吾曹は最早かゝる反駁に抗論す可く努々の言を求むるの愚を學ばず。只一言の贅辭を殘して彼等に引導せん。

曰く『人間にかへれ』

論趣は岐路に趨り過ぎた。

扨て英國は其の東洋殖民の代辯たる東印度會社をして徹底的の調査を行はし先づ鋭敏なる探偵的行動に好妙なる買收と宣傳の脈絡を設定し其の充分なる成

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

算を立つるや突如通商の諸官を派して前來架述（廣東開市の項）の大運動を開始し先づ亞片供給便宜なる門戸の開放を企てたのであつた。其の第一段の成功が所謂廣東開市に結果したものであつた。

此の間（一八〇〇――一八三〇）三拾年餘の英國の奮闘は何物にも屈せざる概を示し、本國より特派されし大使の如きも家に數回に捗り或は侮辱の苦痛を忍び（後章參照）或は朝貢の名に甘んじ鋭意資本綱を布張し亞片の需要を激成せる事に任じたのであつた。

一八三四年の廣東門戸開放、通商自由の權利獲得と共に東印度會社の獨專權は廢棄せられたるもこれは表面に於ける巧妙なる辭禮的外交の表現に外ならずして眞意は決して斯るに非ず。所謂交易自由權の獲取により資本殖民侵迫の第一段を完了したる英國はこれにより其實施方針は國家の背景によつて行ひ各地派遣の通商監視官の手を經て協定を楯に前進せしめ、其前驅たりし特設殖民會社をしては其手足を搾取支配權布殖に向つて伸展せしめんとする意圖の爲採られたる殖民の常套手段に過ぎない。されば英國にとりては一八三四年の通商自由權の獲取は其量に於ては未だ不滿足なる位置にありたれども、質に於ては明かに支那に對せる殖民政策の第一段を完了して第二段的即ち帝國主義的領土侵略の楷程に達したるものであると認定して可なる時である。

吾曹は愈々亞片の産地及び供給の系統を記述して前段の先約を結ぶに先んじて玆に既往詳論したる個々の持論の架空的詭論に非らざるを檢す可く左に時代別の統計的記述を施して置く。

註――表中の數量は箱數を示すものにして各一箱に亞片百二拾封度を容るるものとす

時代	輸入數量
清朝五代、世宗。雍正七年（一七二九）	二〇〇
同 六代、高宗。乾隆六四年（一七九九）	四・〇〇〇
同 七代、仁宗。嘉慶二〇年（一八一五）	五・〇〇〇
同 八代、宣宗。道光一〇年（一八三〇）	一八・九六〇
同 同 同 ◦道光一三年（一八三三）	二三・六七〇
同 同 同 ◦道光一六年（一八三六）	二七・〇〇〇

附記。

雍正七年には世宗勅令を發して阿片の吸煙を禁じたるも廣東其他諸港の商人は當時未だ對外通商の協定なく從つて輸入禁止の如き制令の發布に至らざる所謂法規の不備なるに乗じ地方官憲の賄賂により港市の交易區に揚陸、貯藏は不便を感ぜざりしも渡來後未だ淺く宣傳機能なかりし時代なりしを以つて輸入數量尠く僅に四百箱に過ぎざりし有様であつた。從つて吸烟者の範圍は比較的特殊方面に限られたる事が立證し得られる。

次で英國が主力を亞片に集中し始めたる拾八世紀末（一七九九）に至るや驀然其の數量の增加を示してゐる此時代に在りては地方官憲の買收は殆んど公然と行はれ禁烟の法規の如きは巧妙なる贈賄の前には死規に等しき狀態であつた。爲めにこれより僅々數年にして單位に奔騰してゐる。

史實に依れば更に一八三〇年道光拾年には、宣宗皇帝は、廣東總督として鄧延楨を任命し此弊を除き嚴重に密輸、密賣を取締り強硬なる攘夷政策により内に綱紀肅正を計り外に淸國の威命を示さしめたが、僅に數ケ月にして收賄の甘味に離れたる部下多數の反感を受け其上廣東州内に反亂峰起せしもこれ等原因により鎭定を爲すに命令徹底せず失敗を重ねて遂に讒口の北京に至るに及んで折角の義憤的強硬政策の實施者たる鄧氏も免官され宣帝の意圖も何等奏効し能はざるに及んだ事實があるこれ遺憾なく賄賂政策の徹底と亞片業者への主腦が高級官吏又はブルヂョアに在りし事を表明してゐる。

一八三〇年――一八三二年に於ける數量を對照し見る時は亞片政策實施の效果が如何に英國に奏されつゝあるかが明瞭であるが更に一八三六年に及ぶ表を考察せば、東印度會社の獨專權放棄（一八三四）が明に表面的僞飾であつた事が分り英國の努力の如何に猛烈であつたかゞ想起されるではないか。

阿片の吸烟量は其の最も多量なる者も一ケ月三斤以上に及ぶ者は尠い少量なる者は一斤以内である、是によつて前掲輸入數量を換算し見れば其流行の範圍が如何に擴大し行けるかゞ分り、更に價格を參照すれば一斤を求むるに拾兩（現時に於ては邦價にて一斤約百圓より三百圓位を往來す）以上を要するを想ふ時、日常生活費（現今に於てすら中流者にて一人當り拾五兩內外）と

對稱し見るだに此れが常習の癖に陥りし者が其の產を傾ける程度が明瞭に首肯され其身心を傷ふ程度を考察すればこの害到底酒色を漁るの比に非らざる事明白である。

從つて斯る害毒を人類同志に强要するを國家の政策として殖民侵迫を爲したる資本英國の爲政者こそ正に支那民族、××罪を以つて斷ぜらるるの價値十分ではないか。

亞片政策の實施が更に英國に採りて重大なる關係を持つ處は玆に產地を表揭する事によつて裏書される。曰く主要なる亞片の產地はアラビア、ペルシア、印度である。

晚近に至つては支那の內地、四川、雲南の一部。南露、北滿、の邊境にも相當の產額を見るに至り、その製藥を目的とする栽培に於てすら相當嚴重なる法規の存在するにも拘らず產地は殆んど世界の全土に涉るの感あるも一八〇〇年代に於て支那を夢遊墮落、攪亂の巷に導きたるは印度、アラビア、ペルシヤ產出の亞片に限られたるものにして、而も其の九十九%迄資本英國の毒牙によつて供給せられたる物であつたかく英國は亞片の支那賣込の一途に依り內財政の彌縫を爲し外殖民根據地の經濟確立を爲し得るのであつた。論此處に到らば大英殖民罪業は赤兒も良く了解し得らるるであらふ。

亞片の輸入系路(一八〇〇——一九〇〇)陸路によるもの——(一)中央亞細亞を經て支那西北部より本部に入るもの——(二)緬甸より雲南に入るもの(回教徒の手により)

海路によるもの——(一)船便により產地より直接廣東に入るもの——(二)南洋方面又は南支沿岸にて商賈の手に交易積換せられて廣東に入るもの

等々、——

然し乍ら運輸機關の不完備と行路甚だ嶮難なりし當時の陸路輸送の供給は盜偸、天災等の障害を伴ひ、定期的の輸入は勿論、僅々一年數百の品を搬入する事すら不能勝ちであつた故先ず本段の論據に干與する處皆無である。

海路輸送に依る物も其の政府の全力を傾倒せる英國通商船に依るもの、外には一船百、千と云ふが如きを積載し來たるもの殆んどなく且これ等は因循姑息なる搬入の方法を採りつつ危機に面し居るよりも英商船と交易し易々たる內に薄利にても得る方可なりと信じ(彼等は小官より大官に及ぶ段階的賄賂の鎖を顧慮して)一八二〇年以後は直接支那に輸入するの途を避けしを以て勢ひ英國の阿片獨占となりこれより阿片戰爭前後に涉る輸入系統は悉く有卦に入りたる英商の手より直接廣東搬入の手順を採らるる事になつたと云つて差支はない。

從つて其密輸の方法の如きも又學ばずして他國の硏鑽せるを踏襲し或は改定し行けるを以つて多岐多樣に涉る賢策を廻らし時によりては買收の巡邏船(通商監視船)に積載して白晝公々然と入港し來るが如き橫着な振舞があつた。

一方當時淸朝の爲政者は專政の專權に狐威をふるふのみに嬌り民間の事情に通曉する者無く亞片の民衆を毒し其身心を傷ふが如き事象は彼等の想像にだに映らざる有樣であつた。然し乍ら亞片の急激なる輸入と共に從來は貿易による國庫資源に影響少なかりしものが急遽財政を脅し來れるを發見し始むるや、卒然と覺りたるが如く禁製の烟令を亂發するが如き狼狽を示して來たこの理由は支那は由來產銀國に非らざるに當時より通貨は銀貨制度(紋銀)が採用されて居た。然るに亞片の輸入激增以前は主として諸國に比し豐饒なる產出品を輸出してゐたる貿易狀態なりし爲財政いささかも動搖を感ぜざりしも亞片需要の急騰と共に現銀は續々と英國其他に放出せられ、爲めに彼等(淸人)の頭腦に最も强くショックを與ふる經濟的苦痛を感ぜしめて來たのである。

然し乍ら數度に涉る入禁止、及禁烟令も賄賂網によつて張り廻ぐらされし港市に迫するや其効力は削減せられ所謂死規に化する狀態なるを以つて窮餘の一策として亞片關稅重課と云ふいとも珍妙なる制令を發布するに至つた。輸入禁制品に關稅附加令にして之を想へば實に噴飯にたへざる滑稽事であるが當時の淸朝官憲にとればこれ又爲政者としてしばしば意を安んずるの賢策であつたらう。

勿論英國はかゝる蒙昧なる成文法に辟易するものではなかつた。關稅附加

に對しては原價の記錄を低率にも或は隱蔽により數量の瞞着をなす等あらゆる方法によつて之に對抗し益々其銳鋒を進めてゐた。

　祖國衰頽の運命が足下に迫れるをも知らざる地方官は、かく賄賂の前に法規を亂りつゝ、威令の下に易々諾々と叩頭し來れる資本英國の魔の釣糸に刻々と引ずられつゝ終始してゐた。然しこの間にも相當強硬なる長官の輩出する事もありて或る時代の如きはマカオ總督の彈劾の下に亞片は港市の交易已に貯藏を禁ぜられ、離れ小島の零丁島に繋船交易の止むなきに至つた事すらある。然しながらかゝる事象も其主たる原因は商賈と官憲の私利の刺戟に胚胎する（所謂贈賄の多寡による爭ひ）所多かりし行樣にて良きにつけ惡しきにつけて賄賂が外交通商の楔栓をなしてゐた。かくて官界を汚毒し行く買收の魔の手は遂に政府の監視船に迄及び、巡邏船は淸國の威令をのせて港に浮ばす。英の國策をのせて祖國を亂るの狀態になつて來た。星移り月變り行くにつれ更に奇怪なる事態の發生は續く。

　國防の重要任務に配備されたる沿岸守備の艦艇に座乘する將士がこの買收の大網に引つかゝり、亞片交易の外資に加擔し、國土、搾取、民力疲弊の媒助機能の範例を示すに至る狀態に墮したる事態が其れである、所謂ミイラ取りミイラと化すの例か。

　茲に吾曹中國に在りし日偶々發見せる亞片密輸の一文獻がある。

事象余りに詳細に趨りて論序飛躍し讀者の倦怠を呼ばん事を懼るも向後吾曹の支那解剖の行程に屢々頻出す可き亞片の概念の一斑を爲すものと採錄の繁を許され度い。

―抄譯―

英船（米船）ローズ鴉片を積載して南澳島に碇泊し、舷を沿岸守備隊長の坐乘船近く進めて投錨す―中略―

隊長「貴船は何れより來りて何れに赴く哉」

船長「シンガポールを發航して廣東に赴くの途颱風に遭難して本島に避難せり」

　註―其實然るに非らずして本島を目的とし來れる也―

隊長一巻の命令を繙きて船長に示す。勅令なり。是れ時に亞片の通商不可なるを意味す。さて隊長「貴船に幾何の交易品を積む哉」

　何處にて賣る哉。此處にて賣る哉。又は海岸に沿ふて北行する哉。

隊長の意は明に其交易の處に應じて方法あり而して口錢（賄賂）を要求するにあり

船長「何處にて賣るも良き商品也」

　これより兩者了解して客室に入る

隊長ローズ號を去るや順次にして島影より多數の巡邏船艇ヂャンク支那の商賈をのせて集り來りローズ又舷を隊長の坐乘船側に接してこれ等と會商、亞片の受渡しを了して去り行く。―下略―

　時代は不詳なれどもこれ一八三〇年前後に於て尤も利用されたる英國の亞片密輸法に喧傳せる『ローズ式』の濫觴であらふ。

讀者以つて如何に觀るか。

不撓不屈の努力。計劃に計劃せられし資本網に配するに『此支那此要領』を以つて實施せられたる亞片政策の歸結を支那の運命押して知り得るではなからうか。

　茲に吾曹は亞片政策の實施前後に於ける英淸の位置と亞片戰爭誘發の初段を語りつくした。

　愈々此れより爆發に導く兩國爭鬪の近因たる第二段（後段）に剔抉の歩を進める」

―一九二七―七―二七―

政權入札策

來年は政權入札だ。そこで義一さん考へた、どうしても入札立會人の内務畑はオヂさんと、旨く取引をしておかぬと、政府請負が落札しない。そこで内務畑のオヂさんに、使をやつて、そつと伺ひをたてゝ見た。そしたら彼等は、立會人の親方達の位や、給料が低いのでぶつ／＼言つていた。義一さんもいくらなんでも親方連中だけ附りものも出來ぬので、兎に角警察改善費と云ふのを差し上げる事にした。

一金百五十萬圓　警察署長優遇

一金百五十萬圓　警察官吏優遇

　ところで前者は千二百人、後者は五萬八千八百人だ。一番大切な仕事をして居る人達は考へて見ろ。默つて居て上げて貰へる給料なんか、多寡が知れて居るぞ。目を醒ませ。

反動小僧赤尾敏を懲せ

所謂國粹團體に建國會と云ふ赤尾敏さんの帥ゆる神チッポケな團體がある、そして看板に、尊主愛國打倒共產主義とか社會主義撲滅とか毛色の變つた正氣ざたでない事をやつてゐる。此の赤尾敏と云ふ奴は彼のドラック有田音松や惡魔高柳準之助に劣らぬ稀代の惡黨である。

　彼は皇室中心主義を拜借して、それを種に種々の惡事を働いてゐる事實が澤山ある

　それに擡頭し來つた無產階級解放運動に弊を加へ樣とするが如きは實以つて憎らしい東京の社會運動者よ、一刻も早く、反動建國會と赤尾敏を撲滅してくれ、皇室中心主義者にも音松や高柳以上の策士赤尾敏等のある事をお知らせする。

高畠素之は夜店商人か

　最近の建國會の建國新聞に高畠素之の連載せる（現代の惡制度）と題してその緒言に「…………社會主義の云ふように、今日の社會其のものゝ根柢を否定する所まで論を進めることなくに、ただ表面に表れた儘の個々の制度について云ふのだから之は必ずしも社會制度の根本に手を觸れないでも改善出來ない筈はないと思ふ…………」とこんなだらしのない論議に及んで御座る。

　社會制度の根本に手を觸れないでも改善出來ない筈はないと思ふ――の筈はないと思ふなんて丁度夜店のヤシでも云ふような事だ高畠先生夜店の商人になると誰か云ふよ評論家かヒョロン家かは知らないが、之が資本論を飜譯した高畠素之と云ふ先生なんだから、世の中もカラ駄目だ（机男之助）

芥川龍之介氏と若き社會運動者との死

布施辰治

×

私は、生を愛します、それだけに又、科學的に觀て、生の絶對停止だと云はれるところの死をも、常に凝視することを怠りません。私は、何の因緣か、かなり數多き同志の死を見ましたが、いつも、生を愛する心に死を凝視しつつ、その死を解剖する事を忘れはしませんでした。そうです。私は、只に、人生の意義を探るために同志の死を解剖するのみで無く、又科學的物質的にその死體を解剖する事にも多大の意義を求めて居るのです。

そうした意味に於て、私は、最近見た同志の死――花木ゴム爭議の犧牲者大塚一郎氏の死を味ひ深く考へさせられて居たのでした。

その折、はしなくも傳へられたのが文壇の人、芥川龍之介氏の自殺です。芥川氏の死によつて、死と云ふ問題が各方面から一つの興味を以て論議せられることになりました。そして、それは、今日、なほ續けられて居ます。

だが、私は、芥川氏の死に對して、大きな不快をさへ感じさせられずには居ないのです。氏の死に對する、私のさうした考へ方が間違つてゐやうとゐまいと、それが許らざる私の考へである事を芥川氏の死を問題とする同じ社會の同じ時代に生れ合せた人間として、ここに公然と語ることを憚りません。

勿論、私は、芥川氏の死について、氏がどう云ふ氣持で死と遊び戯れつつ死の國に急がれたのかを味解し得ないことはありません。しかもなほ、芥川氏の死に對して一種の不快の情を禁じ得ないのは、全く私が、大塚一郎氏の死を味ふことに於て、より深くより強きものを感ぜしめられるからなのです。

×

同志大塚一郎氏は、花木ゴム爭議の應援に出かけ、その示威運動の途中で專制的警察官憲の檢束に拉し去られたまま、南千住警察署の暗い留置場に非業の最後を遂げられたのです。

大塚氏は、その日の夕方六時迄、平常通り勤務した工場から我家へ歸つて五人の弟妹や兩親と、貧しいながらの一家團欒裡に夕食を了へ、親戚から送られた不幸の饅頭を、十九歳とも思へぬ子供らしさで、ロ一パイに頰張つて何かの話に元氣よく笑ひ乍ら家を出たのが、兩親や弟妹達の永の別れになつてしまつたのです。

家族の人々が、こう泣き泣き語るほど、大塚氏は元氣よく、無産青年聯盟の南葛地區委員長として、其の夜に計畫せられてゐた。花木ゴム爭議の示威運動に出かけて行つたのださうです。

けれども、この示威運動は猛り立つた警官隊の包圍するところとなり、終に大塚氏は警察署へ檢束されました。いくら當局の有利なやうに見ても、それは、それは夜中の十一時半頃だつたのです。――それが僅か四十分を隔てた零時十分頃、醫者が驅けつけた時、氏は、もう、とこしへに歸へり來ぬ屍となつて留置場の中に橫つて居られたのです。

しかも、其の時醫者は、大塚氏は、少くも自分のここに到着する廿分前に絕命せられたのだ、と云ふ診斷を下したのではありませんか。としたら、たとへ、事實上、警察署で××れたのかどうかは不明であるとしても、大塚氏は、留置場を死場所とするためにのみ警察署へ檢束されて行つた事になるのではありませんか。

×

醫者の診斷によれば、大塚氏の死因は、心臟痲痺でした。――心臟痲痺は僅か十分か十五分の間に突發し得ると言ひますから、警察署が、氏を殺したのでなくとも、心臟痲痺が氏の生命を奪ひ得たではありませう。

だが、そんなことは科學者の人生に對する諦めの判斷です。彼等科學者は、さうした診斷で、科學上の諦めを理論づけて居るのでせう、けれども、大塚氏の兩親弟妹が、又、花木ゴム爭議の示威運動に共同鬪爭した同志達は、白分達の間から突如として拔き去られ、檢束せられた同志が、僅か二十分か卅分の間に敵の留置場裡で斃れた、そのいたましい死を、心臟痲痺の科學的診斷がいかに正確に證明發表せられようとも、どうして、さう信ずる事が出來ますか。

さうした科學的診斷――それは全くの諦めなのです。宗教的の痲醉に諦める事を、我々は斷然排斥します。と同時に我々は、科學的痲醉に諦めを見出す事をも、斷じて排斥しなければ爲りません。

然らば、大塚氏の死を、一體、どう觀ればいいのでせうか?。矢張り我々は、心行くばかり其の死を解剖し、其の意義を味ふことに大塚氏の魂を蘇生らしむるほかはないのです。

ここに所謂「花木ゴム爭議の犧牲者留置場に於ける怪死」問題が起つて、その死因を調べるための屍體解剖が行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

はれることになつたのです。けれども、私は、その屍體解剖の結果に顯けられた疑として、他の多くの人々のやうに、警察官憲の虐殺が立證せられるであらうことを考へたよりも、より深刻な結果を心の中に求めて止みませんでした。――所謂科學の瞞着でなく、自然科學の實證によつて、無産階級の無意識的自殺、意識的他殺の證明せられた事を思へば、おゝ、いかに多くの意義を味はせる大塚一郎氏の死であつたことか。

×

話は、再び芥川龍之介氏の死に移りますが、氏の自殺は、別に、生活の爲めでもなく、又、行き結つた社會苦的の壓迫からのためでもないと云ふ事です

それは、全く明々白々たる自殺でした。芥川氏が、ぼんやりした不安――其所謂生の動搖から、生の境を越えて、の生に隣する死の國に遊ばれたのである事は、よく判ります、だが、その死は、氏が、云はば好き好んで選んだものです。そこに、何んと多くの餘裕があることでせう。何んと多くの自由があることでせう。

これを、生にしがみ付きつつも死の國に突き落される無産階級――生にしがみついたまま其の生を終らねばならない無産階級の、無慘な無意識的自殺意識的他殺に比較して、私は、甚だ感慨深きものがあるのです。

大塚氏の死の如きは、他殺でないとしたら自殺なのでせうか。

療治をすれば治る病氣を、治療しないで病死するのをも、一つの自殺と見ることが出來るとするなら、生に餘裕を持つて死の國に遊んだ自殺よりも、其の生にしがみ付いたまま死なねばならない無意識的自殺の方が、どれほど悲慘なものであり、意義深いものでありませうか。生を尊ぶ私として、どうしてそれを考へずに居られませう。

勿論、私は、芥川氏の死を、大塚氏のそれと同時的に評してゐるのであつて、決して引き合ひに出したのでありませんから、これ以上多くは言ひませんが、大塚一郎氏の死こそは、たしかに無意識的な自殺だつたのです。そして意識的な他殺だつたのです。

×

屍體解剖の結果によると、大塚氏の心臟は肥大してゐました。其の爲に生じた血行の不良狀態は、殆んど全身に鬱血を生じて居ました。

私は、その方面の專門家ではないが、法醫學的に之を見て、かかる鬱血は、出血の前の鬱血として、血管の破壞を衝擊せられた打撲の結果ではないか、と云ふことを醫師に聞いてみたのです。けれども、醫師は言ひました。――

――いかにも、法醫學から見た鬱血は、出血の前の現象としてあり得ぬ事ではないが、大塚氏の鬱血は、決してさうした意味のものでは無く、腳氣症狀の心臟故障による血行不良から來たものです。と、

そこで、私共は、重ねて、かう問はざるを得なかつたのです。――僅か十分か廿分の間に、外的な衝擊をも受けずして心臟の痲痺を惹起する全身の鬱血の症狀を持つ大塚氏の健康狀態は、よほど不良なものではなかつたでせうか。その不良程度が、それほど重いものだつたとしたら、どうして爭議の應援に出かけられたでせうか。それが不審じやありませんか。

これに對する醫學博士川上漸氏の說明は、極めて冷靜且つ意味深きものでありました。――「大塚氏の症狀は、少し健康に注意する人であつたら、確かに其の病狀を自覺して居るべき程度のものだつたのです。にも拘らず、氏が之を自覺し得なかつたのは、氏に自分の健康に注意するだけの生活餘裕がなかつたからではないでせうか。」

いかにも、大塚氏の家には、年老いた兩親と幼き弟妹とがあつて、十九歲になる長男一郎氏自身が、一家を背負つて立たねばならないのでした。かなりの病氣を押しても働かなければ、一家が支へられない無産者の家庭だつたのです。

更に、川上氏は、私の質問に答へられました。――「大塚氏が、もう少し運動神經のにぶい人であつたなら、たとへ、病氣の自覺はなくとも、身體がだるい、朝起きるのが辛い。と云ふやうな欲求のなかつた筈はないと思はれます、矢張り、生活に餘裕があつたら靜養をしいたとか、轉地療養をしたいとか感じたに違ひありません。そして、もし、その欲求が滿足させられ得たらこんな間違ひが起る筈はなかつたのでせうに……」

×

私は、かうした川上氏の言葉を、一體何と味へばいゝのでせうか、何と言つて大塚一郎氏の死を語ればいゝのでせうか。

私は、あまり多くは言ひません。けれども、私をして實に無量の感慨なきを得ざらしめたものは無産者の生命であり、生活であり、法則でありました。警察官憲が、大塚氏に對して何もしなかつたとは言つても、心臟痲痺を惹起するだけの何等かの原因を與へたことは、明々白々たる事實であります。さうでなかつたら、どんなに重い心臟痲痺に惱んでゐたとて、急に痲痺の起る筈はないのだ、と川上博士も證言して居られるのではありませんか。

私は、もとより、大塚氏をして、急激な心臟痲痺を惹起せしめた警察官憲の暴虐を憎まずには居られません。だが、これよりも更に更に憎むべきは、今日の資本主義そのものであります。官憲の暴虐に敢然と抵抗して、之を排擊することを得さらしむるまでに――かくして非業の死を遂げねばならぬまでに、若き社會運動の闘士大塚一郎氏の生活を悲慘ならしめ餘裕なからしめたものは、實に資本主義制度であります。

×

人生の死の悲しさは、さびしさにあ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

巡査と憲兵に與ふ

木下正

現下の僞政者は、司法的威嚇の××立法と、×××なる警務的束縛を以つて社會運動者に對する政策としてゐる、その姦策たるや益々以つて辛辣を極め迫る。

現田中反動内閣においておやだ。

斯る司法的嚴罪と法の威嚇は、社會運動者にして益々反逆の炎に注油する以外なにものも利く所にあらず。

爾來、日本の社會主義運動は、如斯き治下に於て、最も熾烈に、最も××なる彈壓下を潜つて來つたのである、けれども、それは表面的失影したるが如きもその潜入勢力は反つて益々擴大し進展し來つたのである。

近時に於ける無産階級の昇旭の如き擡頭は雄辯に物語るものである。

社會主義運動は社會進化の必然兒である、それは全世界大衆の大潮流である。

端屬の彼等が如何に彈壓手段を以つて喰止むも斷じて抑するものにあらず、社會主義運動は人生の徹底思潮に、その立脚點を置くものである。

私は此の意味において、官憲諸君に一言を與ふものである。

官吏の一種、官憲と雖ども同じ人間である以上、人生の本然に立ち還れば眞理の欲求者であらねばならぬ、否ムシロ常人以上の欲求者ではなかろうか？、何故ならば、彼は常に社會の裏面を視、扱つてそれを處理する任務にあるからである、就中社會制度の矛盾とその職務の×××なるに、自ら驚かさるを禁じ得なかろう。

編輯部より

本月は整理上の都合や、編輯者の變更等の都合からして(全土戰報)を掲載する事か出來なかつたのを遺憾に思つてゐる「進め」の全土戰報欄は生血のしたたる樣な同志の叫びであるから、來月から本部においてもウンと力を入れる。地方の同志諸君、は色々な運動上の出來事や、面白ひ話をどしどし投稿していただきたいそれから一寸お願ひしたい事はなるべく原稿用紙に綺麗に書いて貰ふ事です。

そして自己の（官憲）×××××××××、×××××急迫は歡する能はさる事實であらう、觀つて同時に、現下の勞働者と小作農民との立場に等しく、その生活程度に於ても完全なる共通點の合知を見るものである。

その所謂奉職たるや、權力と威嚴の外何ものも持たさる、彼の官僚閥の束縛を受け、暗々默々として從事してゐる官憲こそ、×××甚しきものではないか。

吾人は斯る××を目する能はず、進んで彼等を、彼の官僚閥の鐵鎖より速かに解放せんと努力するものである。

これ即ち社會主義運動の重大なる任務であるのである。

然るに斯る情下に在る官憲諸君は、何故吾々社會運動者に對し、徒らに××××迎へ××××て向ふのであるか、何ぞその愚、無智、蒙昧の甚しきものである。

彼等は、まれに×××××以つて熾烈に彼等の腦裡に刻まれてゐるでもあらう、奉職とか奉公とかの美名の下に彼等は默々として忠實にその命令一下に服從してゐるのである。

彼等の方針こそ、實に恐しき崩に非ずや。

社會主義運動とは、資本家の支配下にありて苦しめる勞働者の解放である地主の支配下に、熱ノ下に營々と働く農民の解放である、權力と威嚴に脅かされつゝ服從する×××（×××）解放運動である、と同時に之等禍根をなす、資本帝國主義の××運動である。

然して搾取なき暴權なき、眞の民衆の理想社會建設へと努力する運動である、それは大衆の渇望せる潤いの源泉である。

現社會を救はんには資本主義××の一道あるのみ、自覺せよ大衆！勞働者も農民も××（小官吏）も一齊に起つて團結せよ！然して資本主義の鐵鎖を裂千切れ。――完――

（第十八頁よりつゞく）

る。しかも、兩親の墳にも抱かれず弟妹の手にも慰められず、又、あたたかき同志の看護をも受け得ず、敵陣の中に斃れた大塚一郎氏の、なんたるさびしき死よ。！

私は、衷心から、氏の死を吊はずには居られませんでした。

だか、それは、まだ至らざる吊ひです。眞に大塚一郎氏の死を吊ふべくば生にしがみ付きながら、無意識的の自殺と意識的の他殺を強いられつゝ、有産階級の飽くなき搾取の下に蹂躙せらる無産階級の悲慘な境遇を、はつきりと見究め、この敵階を××しつくすまで之と對抗し鬪爭して、最後の勝利を獲べく蹶起せねばならないのです。

かうした意義を有つた同志大塚一郎氏の死の解剖を切實に味ふ時、私は、あまりにも文壇の人芥川龍之介氏の死が遊戲的であり自由であることに嫌惡の情を禁じ得ないものであります。

我々全被支配階級が、深く深く味ふべきは、芥川龍之介氏の自殺ではなく、實に大塚一郎氏の死なのである。

■ ■ ■

サッコ、ヴアンセッチを助けろ、
無罪の二人を死刑臺から引づりおろせ、
アナキストも
コンミユニストも
百姓も、勞働者も……
反動政治と抗爭せよ。……

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産階級の政治的進展と婦人意識の再現

高群逸枝

一

わが國における婦人運動は、婦人運動の擡頭とほとんど同時であつた無産階級運動の擡頭のために、外部的にも内部的にも、混亂のあと著しいものがある。

わが國婦人運動の確かな現はれは、大正九年の新婦人協會の運動が、それであるといはれてゐるが、そこへすぐ無産婦人運動が芽を吹いてきたのである。

いつたい西洋にあつては、前代の婦人運動が婦人の教育、職業、參政權等の問題、即ち女權の問題を解決したあとを、無産婦人が受けて、進展するしきたりになつてゐる。それが婦人運動として一般的た徑路になつてゐるのであるけれども、我國にあつてはさうでない。

新婦人協會の運動が、治安警察法第五條の一部の修正に成功したばかりの頃に、早くも婦人運動は分裂して、その先覺的、指導的分子は、無産階級運動に没入することを以て、婦人運動の唯一の正しき道であり、必然であるといふことを自覺したのである。

しかるにその頃の無産階級運動は、組合主義的労働運動を中心としてをつたために、婦人運動もまた、労働婦人運動を中心として意識され、理解されたのだつた。

私の記憶するところによれば、山川菊榮氏等の論鋒の鋭かつたのがこの時代で、氏はその論を強調さるゝあまり、ほとんど我國婦人の現實的、特殊的問題に關しては、それを無視してかへり見られないかの觀があつた。氏及び氏一派の婦人達は云つた。代議政治運動のごときはブルジョアジーのものである。かるが故にブルジョア婦人共がかの參政權行使によつてかちうる形式的た權利のごときは、我々無産婦人にとつては、問題外に屬するものである、と。

けれども今や無産階級運動が、かの方向轉換とやらで、代議政治運動へ參加し、それを以て全面的な進展とまで信じてゐるかの觀ある今日、彼女達先覺婦人の方向轉換こそは見ものだつた。

今や彼女達は云ふ。ブルジョア婦人がなすべきことをしなかつた我國にあつては、無産婦人がそれをしなくてはならぬと。われらは此の意味において一應ブルジョア革命を通過しなくてはならぬと。かつて問題外であつたことが、今日では大いに問題になつてゐるのである。

かくて、かつて組合主義的労働婦人運動を中心に——農村婦人運動などといふことは、その當時にあつては全然と云つてよいほど口にされなかつた——思想的にも實際的にもそれに根づけられてゐた先覺婦人達が、早くも今や政治運動へ進展したことは、そして一面逆戻りしたことは勿論であるが、彼女達は、これは逆戻りではない、無産階級の進展と共に進展したのであつて、從來の婦人參政運動とは、質において大いに違ふなどと云つてゐる。

それはさうでもあらう。けれども、かつての無産階級運動はそれ自身の運動であつたので、無産婦人のみを必要とし、ブルジョア婦人を排斥したのであつたけれども、政治的進展に基づくいはゆる全面的運動は、いまや獨り無産婦人のみを必要とするにとゞまらず、ブルジョア婦人をも必要とする。即ち全體的な意味における「婦人」を必要とするのであるから、無産階級運動における從來の男女無差別的スローガンは、ここに特殊的婦人意識を利用すべく書きかへられねばならない。此意味において、「婦人」なるものが、再び活躍することになる。としたなら、それは一面「婦人」への逆戻りであるといふことがいはれなくはないのである。

二

茲で考へられることは、いはゆる先覺婦人達の無定見、そして盲動についてである。

彼女達は、總じてあまりに早く、無産階級といふ名前の前に、盲目的になり過ぎる。無産階級といふものゝ中には、少數の知識階級がそれを借稱してゐるものもある。さうでないものもあるのである。しかるに盲目的なものは、得て前者を眞正の無産階級と思ふが、それは、學理的な幻影にしか過ぎない。そしてこの際、幻影であるか否かを批判し得る能力は、私共にあつては、「婦人」をいづれがよく事實において生かすかといふ一事にかかつてをる。

しかとした婦人意識をもたぬ、盲動的な婦人達は、由來有頂點になりやすい。第三階級勃興の當時これからの部類に屬する中性的婦人達は、自由主義を以て、婦人を根本的に解放するものであるかのやうに盲信し、有頂點にな

つたのであるけれども、事實はどうであつたらうか。

かういふ慘めな經驗をもつてゐる私共としては、眞正社會主義とか、正統無産思想とかいふも、それをうかと信ずるわけには行かないのである。卽ちあくまでも、婦人意識に照らし合せて見て、それを全く擁護し支持する思想を求めてそれに據らなければならぬ。

勿論私は、婦人解放を、婦人の單獨行爲にてなし得るものでない。それは眞の意味における無産階級運動の胎内へ婦人か溶け込んだときにのみ可能であることを信じてをる。が、さきにも云つたやうに、眞の無産階級運動か、あるひは一部知識階級の學理的空想に支配せられてゐるものであるかどうかといふことの判別は、それが婦人を生かすかどうかといふことによつて決せられる。

元來、婦人が無産階級に自己解放の全的な世界を見出したことは、婦人—のもつ特殊的な機能と性情を、無産階級が理解し、その機能と性情との自由を無産階級が擁護するといふ信頼が婦人に生じたからであつて、それは決して婦人が、自らの特殊的な機能や性情を投げ捨てたことにはならぬのである。

故に無産階級の内部に、幾つかの指導意識がある場合、婦人は卽ち、自己の機能と性情に基づく婦人意識を以てその各々を批判し、その婦人意識のよく生かさるる世界を求める。その世界において始めて婦人は特殊的な自守の意識、卽ち性別的意識から解放さるゝことができるのである。それだのに、自動的先覺婦人達は、よく見究めもしないで、頭から、そして事大主義的にある思想を信奉し、恰もその思想にまかせてさへ置けば、婦人は全然結果において解放せられるといふことに、何等の疑ひもたぬかのやうである。それは丁度、第三階級勃興當時の婦人達の自由主義に對する盲信と類を同じうしてゐる。

三

アウグスト・ベーベルが、社會主義制度の下における婦人、特にその結婚について「愛人の選擇においても、婦人は男子と同じ樣に自由である。彼女は自ら求婚もすれば、されもする。そして自分の意志以外には何物にも拘束されないで、男子と結合する結婚が、中世の後期に至るまでは、私人の契約であつたやうに、その結合は公の干涉を受けぬ私人の契約である。卽ち公の全然關與しない自由結合である。」と云ふてゐても、彼の意味する社會主義制度が集權的社會主義であるならば、彼の描いてゐる理想は、單に理想であるにとゞまる。これについて、ある研究者は云つてゐる。「結婚制度は本來私有財産制度と中央集權制度を支持するために設けられたものであるから、私有財産制度が亡びても、中央集權制度の殘留してゐる社會には何等かの形で殘留し、そして何等かの形で公の干涉を受ける。そして依然、性の自由と純潔を妨害する役目をつとめるのである。」

以上は性についてであつたが、小兒と母性の自由についてはどうか、私共はいはゆる社會主義的社會における常識語として、小兒保育の社會化といふことをよく耳にする。けれど母性の小兒に對する本能といふものは、一種自己維持の本能であるから、正しき意味においては、小兒を母性から切り離して、その保育を社會に委ねるといふことは母性の本能に反してゐる。かくの如き意味における施設は、變態的な社會においてのみ許さるべきで、新しい社會、婦人の機能と性情を理解し、擁護するであらう社會では、婦人は全然小兒を離し得ないものであるといふ認識が制度の基調になつてゐなくてはならぬ。けれども集權的な社會主義的社會にあつては、勞働を上から統一すべく、常に上から働きかけねばならぬ必要上、婦人をもより多く勞働せしめんがため、小兒保育の如き社會がこれにあづかるやうなことになる。

これについてある人は云つてゐる。自由聯合の社會であれば、一部落が家族的愛を以て、婦人の母性としての自由を擁護する。こゝでは單位が一部落から成立つのであるし、集權的でなく協力的であるから、今日でも農村の空氣はさうであるやうに、より多く本能の自然が、そして自由がその基調にたる。故に本能の自然及ゝ自由を中心として形づくられてる婦人意識を生かす社會は、この自由聯合の社會に外ならぬと。

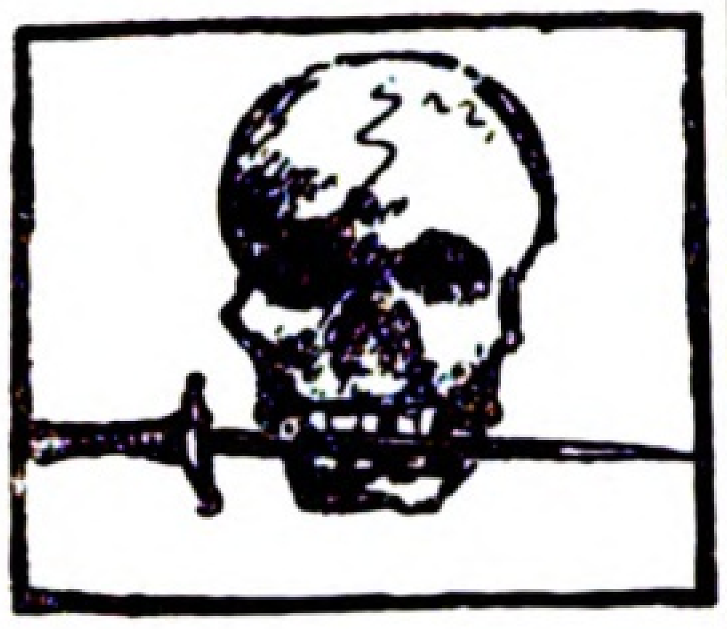
それは兎も角、婦人意識により社會思想、乃至社會制度批判といふことは、今後にあつて、益々重要であらう。また、婦人が自分といふものに、しかと目覺めたなら、そして一時の自動的知識階級偏重的思想から解放されたなら、その時こそ婦人は眞の無産階級の世界を摑むことができるのである。

この意味において、無産階級のいはゆる政治的進展による婦人意識、再現は、婦人の眞の自覺への一つの機緣にならぬものでもあるまいと思はれるが故に、政治運動そのものには副次的な意味しか認め得ない私も、全體的な意味からその成行きを興味を以て見てゐる次第である。

御詫び

細田德三博士に對する、向軍治氏の誤謬指摘問題は、相當社會の耳目を集中するところとして、愈々佳境に入らんとしつゝあつたところ、本號は原稿意外に多く、重要記事も止むなく次號に廻送するの餘儀なきに至り、同時に殘念ながら向軍治氏の該原稿も止むなく次號に廻す事に決定致しました。讀者諸君及び筆者に對して深く御詫び申上ます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



朝鮮社會運動小史序說（三）

金熙明

第三章　朝鮮獨立運動時代（一九一一年—一九一八年）

第三節　獨立運動の眞相

一三　露領方面

日韓合併を不平にして合併前後露領方面に亡命した朝鮮人は、米國方面よりも何處よりも露領方面が遙かに多い。而して浦鹽斯德方面に於ては勸業會を始め其他の有力なる排日朝鮮人結社が多數ある。彼の安重根がハルビンに於て伊藤博文を暗殺して以來露領方面に於ける排日朝鮮人の勢力は非常なるもので、「ニコリスク」地方を根據とした『韓族自治會』は、在露排日朝鮮人の大部分を支配し、『韓族公報』と稱する機關新聞を發行して盛に排日思想の皷吹に努めた。

當時此方面の排日朝鮮人は、露西亞に於ける過激派と氣脈を通じてその援助を受けると計畫をなしつゝあつた。しかし間もなく西伯利亞に日本軍隊が出兵されたので運動は必然的に萎縮したるが如き狀態に墜つたが、その反面には朝鮮內地に於ける自由運動の聲を聽き米國、上海、西、北間島方面の各派と秘かに步調を同一にし、××示威運動及び運動資金の調達等をなし、またその後に於ても李東暉、文昌範、洪範圖の一派は更に一九二〇年國際聯盟會議に際して、過激派の應援の下に朝鮮の國境を侵したり、兵丁の募集、訓練、兵器食糧の準備をなしつゝあつたが、この運動は一九一〇年冬上海に於ける假政府と理論と實際の行動を共にすべく合同し、李東暉、文昌範其他の數人は假政府に入閣したゝめこの運動も同時に假政府の統一的指揮の下に行はれるやうになつた。

一四　西間島及北間島方面

西間島並びに北間島は地理的に朝鮮に隣接してゐる關係から朝鮮の生活に苦しみを感じてゐる農民や勞働者が多く彼地に移住し、未だ農業開發等のために一時的に出稼ぎに行くものも少くなかつたが、一九一一年より一九一五年までは同地方に移住するもの、數が一層增加して一九一〇年時代に比較すれば約六〇割の率を越へてゐる。之は云ふまでもなく日韓合併が齎らした一大社會的現象であつた。即ち彼の地方へ移住を企てゐるのは悉皆生存競爭に劣敗したものである。換言すれば日韓合併の結果に依り朝鮮には多數の日本內地人が入込んで來、物價は次第に高騰し、租稅は漸次增徵せられ、諸法令は過酷となり、加ふるに東洋拓殖會社は、彼等の耕作土地を奪つて、日本移民に與へる等の如き諸事實に依り朝鮮內地に於ては彼等は到底生活を持續出來ない。斯くして彼等は祖先墳墓の土地を追放され、親戚故舊とも相別れて遠く荒れ果てた滿洲の地に至り不毛の地を開拓するに至るのである。この事實に强ひられる數十萬の彼等は到底排日思想を抱かずにゐられなくなつたのもまた理の當然であらう。而して日月の經つに連れてこの移住曠野には最も猛烈なる排日的生活が芽生へて來、それは次第に具體化され組織化されて行つた。

鴨綠江の對岸たる通化縣哈爾河に武官學校が創立されたのを緒に××思想運動は次第に朝鮮內地と共に連絡を計るやうになつて行つた。武官學校は、元平安南道觀察使であり假政府財務總長である李始榮や、同內務總長李東寧等の仕事であり、盛んに國內の靑年鬪士を誘致して勉學せしめたのである。なほ一方に於ては、間島××運動の巨魁とも云ふべき柳麟錫等は、雅河地方にありて同志を募り排日熱を煽り運動の組織的方面に積極的に力を盡した。而して柳麟錫一派はその後柳河縣三源浦や、吉林省の穆陵縣、額穆縣、新站等に運動の勢力を延長し、後日柳河縣孤山子、長白山麓の內島山等にも武官學校の設立を見るに至つた。彼の安重根（伊藤博文を暗殺した）兄弟や、ピストル暗殺團の李鐸ならびに王三德の一派も悉くこの地の出身である。

斯くして一度朝鮮に獨立運動勃興の報を耳にするや、直ちに上海假政府と相呼應して示威運動や、運動資本の募集、拳銃××團の朝鮮內地侵入、各運動、印刷物の密輸送及び在露李東暉一派の運動に策應するために、壯丁の募集及び敎練等を行つてゐた。而して運動は柳東說及び金若善一派の軍政府の手に集中し吉林を中心に熾烈化した。

一五　東京留學生

朝鮮獨立運動發生以前已に東京に在留する朝鮮學生は一千何百にも達してゐた彼等はある意味に於て朝鮮の將來のための生命でもあり、希望の芽でもあつた。かくも朝鮮全民衆は彼等に大きな期待と望みを持ち祖國の更生を望ふのであつた。事實に於て今日の如く朝鮮民衆を啓蒙し思想的に覺めしめたのは之等東京留學生の直接的、間接的の功績によるものと云つても過言ではなからう。東京留學生は朝鮮內地に向

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて新たなる文化を輸入し其他あらゆる復興の途を講じ一方に朝鮮全民衆の覺醒を促がしつゝあつた。

獨立運動勃發を前後して在東京朝鮮人學生間には早くも祖國の現狀を憂ひ之が善後策講究の機關や、祕密的結社を造り盛んに愛國的精神を作興し、排日熱を煽つた。かくしてゐる中に當時早稻田大學の文科に在學してゐた李光洙が、一九一〇年十一月休戰條約締結間際に、大戰終了後在米、支、日の諸朝鮮人團體等と提携して朝鮮獨立運動を試みべく各地に散在せる同志と會見のため、北京、上海方面に旅行した。さうして彼が一度東京へ立戻ると間もなく例の三月一日の獨立宣言書が朝鮮内地と同時に發布され、それに先立つて二月八日東京留學生に依つて行はれた青年××團の宣言書の發表、それから帝國議會や、東京駐劄の列國大公使への獨立請願の運動が續いて隆起した東京に於ける運動はかくして愈々白熱化し日比谷公園等に於ける示威運動等は未だ耳新しい事件である。李光洙君はその後祕かに再び上海に渡り當時上海に於て發刊された『獨立新聞』を主宰したが現今は京城に戻り『東亞日報』の編輯局長の椅子にある。

かくして東京留學生は、獨立運動勃發以前に於ては、その思想的地盤を築き、更に勃發に至らしめた導火的役割をなした。朝鮮獨立運動史に於て東京留學生の存在價値ならびに、その活動的效果は大なるものと云はれるであらう。

第四節　上海假政府の運動

一　三大機關紙

上海假政府は、一時佛國領事から退居を強ひられたのであつたが、後に諒解する處となり元の處で各方面に向つて盛んに運動熱を煽つた『獨立新聞』の外に『新韓青年』と云ふ雜誌や『新大韓』といふ新聞を發行して活動を始めた。

二　修好條約更新運動

上海假政府はその後國際聯盟會々議が米國に開かれる場合は、大統領李承萬や假政府の代表者を同會議に派遣して、明治九年日韓修好條約締結以降日本が朝鮮に對して行つた、凡ての事實を曝露し、之を訴へて例國の同情を喚起し、聯盟會議をして朝鮮の××を承認せしむる運動を試むべく既に一九一二年に於てその準備をなした。

三　キリスト教徒世界大會

一九一二年五月米國でキリスト監理派教徒世界大會と。是に前後して長老派も米國で大會を開くことになつた。無論それは耶蘇教の布教に就ての會合ではあつたが假政府に於ては好機逸すべからずと活動を開始した。即ちこの會議に朝鮮を代表して派遣される米人宣教師ノーブル（京城在住監理教）同モーヘット（平壤長老教）及び、牧師吳基善（仁川在住）金永燮（同）安本源（平壤在住）、林鍾純（同）、外二名が參列し、上海から牧師孫貞道（假政府國務院議長）外三名參列し、更にこの外醫師張震變も同行することに決定された。而して此等の代表者は大會に對して日韓合併以來の不平や、騷擾に對して執つた日本政府の措置を訴へて、米國人上下の同情心を喚起し以て朝鮮××運動成功を全朝鮮民族の幸福の前提であることを絕叫した。

第五節　運動の概況とその後の狀勢

以上述べた如く、在外朝鮮人ならびに朝鮮内地に於ける運動は、全く組織的に連絡を取り迅速に運動を持續してゐたが、運動の指揮者と青年鬪士が殆んど入獄せられたばかりでなく益々峻烈に組織化されつゝある官憲の警備のため運動は次第に内的に潛沈し、外面は一見平隱を裝うてゐるかの觀があつた。しかしその運動は益々内燃的に深刻化し、濃化し、一般朝鮮人の生活は極度に緊張味を帶びるやうになつた。しかしながら時々大事件が戒嚴の警網を破つて勃發した。即ち齋藤總督入鮮當日の爆彈事件、大同團といふ結社が李剛公を上海に誘出さんとして、自動車で安東縣まで潛行し、官憲のため京城へ連れ戻された事件、男爵金嘉鎭が變裝して上海に逸出したる事件等の大事件が數々ある。其他大韓國民大會が大邱で檢擧され、愛國婦人會、大韓××青年團、大韓國民會、青年義勇團、上海假政府交通部關西支部等並びに平安北道で檢擧された安東青年團、安東交通局等の祕密結社に關する事件がある。なほ之等の祕密結社の外に小規模の祕密結社的のものが隨時隨所に簇出し、更に在外獨立運動團體の派遣する派遣員の内地潛入計畫等は現今未だその終熄を見ないものである。

筆者附記。本稿は朝鮮運動をなるべく解り易く簡單にしそのシステムの如きも朝鮮最近社會運動の土臺ともいふべき獨立運動時代より書き出したのである。今回を以て獨立運動時代即ち朝鮮社會主義運動第二期小史を終了し以後は『朝鮮社會主義運動史』を書くことにする。之は日本運動と並行しまたその人間の名の如きも讀者の間には現に親しくしてゐる人もあることだらうと思ふ。種々考へた結果之はも少し文獻を採集する必要のため來年の新年號より繼續することにする。讀者諸氏に若し朝鮮社會主義運動史の資料となるべき文獻若しくはビラ、日記其他の參考品を有してゐる分は厚意を盡して貰ひ度い。來年の新年號を約して一先づ此稿を了ります。（金生）

朝鮮社會運動史の序說—獨立運動時代—の史說もこれで終りました。これから愈々本說に入る準備として新年號迄休載することになりました。（記者）

左右兩翼の「對立闘爭より團結へ」

澤井龍之助

一

現內閣が成立されてより、我が無產階級の諸運動は甚だしく壓迫され強壓されつゝある。在野時代においては自由主義的看板を掲げてゐた現政府、政友內閣は一度、政權を自己の掌中に握るや否や、忽ち、其の持前の反動主義的政策を實行したのである。

而し、我々は斯くなる位の事は覺悟もしてゐたし又、何日如何なる場合に限らず此の位の彈壓振りは豫かじめ豫期して置かねばならないのである。

農村に於ける土地の立入禁止、都會に於ける勞働爭議の彈壓、又我々、唯一無二の戰闘手段たる、言論、出版の暴壓等、數へ上げれば、枚擧に暇無き程の意識的抑壓方針を實行しつゝあつたのだ。

我々は此の如き專制的彈壓の下に益益その歷史使命意識と鐵火の如き戰闘情意を以つて抗爭して行かなければならぬ事は云ふまでもない。而して我々には此の意識的暴壓に對して如何に闘爭して行かんとするか。

二

今、我が無產階級運動は凡そ三派に分れて居る如く見ゆる。否、それは或る一部職業運動屋の規定した所のものではあるが、事實、ソウ見ても差支へない模樣である。

即ち、一つは折衷主義に屬する一派（山川均氏一派の舊共產黨）一つは意識的組合主義に立脚する社會民衆黨、而してそれ以外に正道的無產階級運動を實行しつゝある。中堅派即ち、日本勞農黨（最も極左翼と自稱する蛆蟲共には中間派等と惡口は云つて居るが、ソンナものは問題でない）而して我國に唯一の無產政黨と自惚れつゝある勞働農民黨（實は支那共產黨の如くロシアより金をフンダクツテ喰つてるロシアプローカー共）等である。

此の中、社會民衆黨は狹隘なる組合主義より一歩も進出せずして只單に組合員數の增大黨員の增加のみ視野に置いて全無產階級の大理想を忘却せるものゝ如くである。

而して、勞農黨は左翼的紛飾により只單にロシアの指令に動きつゝある土偶人形の如きものであつて眞の日本の現實に要素、立脚せざる盲拜的直譯の主義者であると云はねばならぬ。而して彼等に眞の信念の倶なはざるは蓋し當然であつて、我々は彼等の如き野心家共によつては斷じて理想社會の到來は愚か、現社會の崩壞をも齎らさないであらう事を斷言する。

三

然らば我々は今、如何にして戰かつて行かうとするのであるか。

現段階――資本獨占時代即ち資本帝國主義時代――に於ける我々無產階級は單なる組合主義よりの殼を脫つて捨て猛悍なる『力』に基づく總らめる運動を奮起せしめなければならぬ。とは云へ全然、組合運動を忘却して了ふ事は眞の運動に忠實なる由緣でない。我々は現社會組織の××過程に對しては深甚の科學的考察を與へなければならないと共に、總らゆるジアーナリズムと常に流行病的一時的左翼革命病に心醉せる曲左翼の行動をも監視を怠つてはならない。

現在、極左翼――實は曲左翼――と云はるゝ一派は口に全無產階級的政治闘爭主義を呼號して居る樣であるが、這は今更、改たまつて叫ばるゝ程の珍らしい事柄でない。是は今迄、我々が叫び續けて來た所のものであつて、蓋し、當然過ぎる程當然過ぎるものである。況んや今日の如き窮迫せる社會狀態においては單に勞働組合主義運動だけに據る社會運動は甚だしく時代遲れの感無きを得ない。然し乍ら、勞働組合は總らゆる運動の統制力の主體であるが故に、是れは增大して行く事は本來的意義に於ける社會主義運動を停滯せしむるものでもなく、又革命運動を妨害するものではない。曲左翼一派の勞働農民黨は勞働組合よりも勞働農民黨の力が大切であるかの如く云つて居るが、這は、政治運動を政黨運動化せしむる所の社會民主主義に移行する反動主義者の言である。

四

全無產階級的政治闘爭主義と云ひ、社會主義的目的意識的闘爭と云ひ、而して又、無產階級の歷史使命意識の進出、展開と云ひ、總て是れ皆、『力』の欲望に基底さるゝ所の運動手段に過ぎない。

勞働組合が一定の發展階段に到達し、それと共に無產大衆の革命意識が燃燒成熟して來れば來るに從つて我々の戰術も自から變更されざるを得ない。然し乍ら、我國資本主義發展の諸相、並に經濟組織の成熟、完成は一先づ一定の窮極階段にまで上せて來た模樣であるが、それに倶なふ我無產階級大衆の意識、自覺は何うかと云ふに未だ正常なる發展、成熟を示してゐないものであると云はなければならない。是れの生きたる證左は過ぐる大正大震火災の凄慘なる幾多の事件がよく是れを說明して餘りあるものと云へるであらう。

我社會運動界は今や、卍巴の如き混合型時代を現出せしめて行く。而も

これをよく統率して行く者は誰であるかの徒らに口先だけの革命行動では革命は起らない。又、徒らに目前の小事象に囚はれたる現實主義者に據つては尚更然りである。と云つて、是れの折衷主義に據つても到底、此の大事業をなく為し遂げるに由ない。然らば如何にして此の反動思想の瀰漫を征せる過渡期をよく征服し得るか。而して又、無産階級運動の混合型時代を是又如何にして、よく克服し得るであらうか。

『發展は對立物の闘爭である』とはレーニンの言葉だそうである。然し、此の『發展』は無産階級運動の發展を意味して居る事は云ふまでもない。然らは『對立物』とは抑々、何んであるか？曲左黨、新共産黨の言に據れば『左右兩黨の「對立」闘爭であるさうだ』換言すれば『左右兩黨の對立闘爭』は無産階級運動を、發展さす事になるのである。咄！呪ふべき戦—何時、如何なる場所で如何にしてよく此の言葉の實際に行はれたる事があるか世界、何處の所を探しても、古今東西未だ嘗つて同志打ちに據つて戦爭の勝つたタメシはないのである。レーニンの言葉は『對立』とは資本對勞働の兩階級を指して居るものであるまいか。若し同志打ちに據つて、無産階級運動が『發展』するものと思ひ込んでゐたとすれば、那は飛んでもない大間違ひであると云はざるを得ない。曲左黨の者にはよくマルクス、エンゲルス、レーニンの片言雙句を捕へ來つて、恰も大本教の御筆先の如く盲信し、歸依して居るのを見受けるが、それで何が一體、科學的社會主義なのであるか。既に彼等はマルキシズム、レーニンズムの崇拜者、否、盲拜者、狂信者、英雄崇拜主義者に成り切つて居るものと云はなければならない。斯の如き、ヒロイズムは是れこそ、恐るべき、無産階級革命運動を妨害、停滞、破壊するものであつて、我々は斯樣なる。個人思想及反動思想を徹低的に排撃撲滅しなければならない。

團結！　とは抑々何を物語るか。更に又マルクスの『萬國の勞働者團結せよ』とは一體、何を指す事であるか。我、社會勞働運動の闘士諸君は、よくよく此の言を噛み締め、味はふべきものであらう。

「反政黨運動」に寄す

一　勞働者

各無産黨の機關紙が全紙面を擧げて府縣議戦の記事を掲げ互に鎬を削つてゐる・アナキストはその本來の公式的幻影から、機關紙「反政黨運動」によつて代議政治と、政黨運動の非なる事を論じてゐる。

例へば「末期的代議政治を嘲笑し、府縣會選擧に對抗せよ、狂奔する無産政黨を排撃して全國的反政黨運動を喚起せよ」と『反政黨運動』は激してゐる。即ち、彼等から見れば無産政黨が議會萬能主義だと云ふ。議會によつてすべてが解放されるなど、は、日本農民黨や社民黨なら知らぬ事、誰れも考へてゐない。

吾々はあるがまゝの現實の上から、如何にして運動を發展せしめんかを考慮するが爲めに、全面的にすべての支配に反抗する。無産階級の上に君臨する支配は政治支配である以上、吾々の運動も政治的である。否定するとも、否定し得られざるものである。されば、選擧のみが議會のみが政治運動だと思ふのは間違である。

ムッソリーニの政治は議會を無視した政治である。こうした議會無視政治が日本の反動政治である。故に吾々の行動は議會を無視すると否とにかゝはらず政治運動である。組合の闘爭のみに運動が局限せられた時代は去つてゐるのだ。

府縣會議員選擧は政黨運動の一部であつてその全部ではない。それは限られた意義しか有しない。吾々は單なる選擧戦の中に政黨運動を押しこめようとはしない。

無産政黨の歴史を見れば、成程各國とも堕落してゐる。しかし、彼等の華やかなブルヂョアジイと接近した名聲は××的プロレタリヤの信任を得てをらない。××的政治運動が根柢に深い根を張り廻してゐる故にこそ、世界の階級闘爭が尖鋭化し、反動政治が出現してくるのだ。

否全面的運動のみが吾々の運動であり然るが故にこそ夫は政治運動である。紙の樣な幻影で組立てられた原則論の上に、強い社會の現實に目を閉ぢ、あらゆる支配への闘爭を回避せんとして、未來社會の夢に見とれんとするのが所謂反政黨運動である。「反政黨運動」は聲をからして政黨の非を論ずるが、その論據とするところは何であるか。曰く無産政黨はかつて吾々を解放しないではないかと。かゝる反對は丁度ブルヂョアが班田收授法の失敗を見て社會主義に反對するのと同じい非科學的心理である。

理論的根據なき反對は氣分的反對に過ぎない。現實の支配への闘爭形式を如何にすべきかを具體的に確立する力をなく、ただ大衆よ、未來社會を夢見よと叫ぶに止まつてゐる。

闘爭は常に組織である。組織は具體的であらねばならぬ。具體的組織とは全社會の隅から隅へと張り廻された組織である。この組織と、支配との衝突は常に政治的である。

吾々はこの府縣會議員選擧戦においてブルヂョア議會の××を企てゝ無産階級の進出を容易ならしめ樣とするのである。

勞働運動講座

米國の勞働運動

淺野研眞

第一節　序説

北米合衆國は、極めて新しい國である。一四九二年、コロンブスが、此の新大陸を發見して以來、歐洲諸國の植民地として、長らくの年を閲した。然るに次第に英國の支配下に置かるることになつたが、一七七五年乃至一七八三年の獨立戰爭によつて、遂に北米の中央部に、完全な獨立國が形成さるることになつた。そして其は最も近代的なる合衆國の形成を取つたのである。由來、米國人は、歐洲の挾溢な天地を去つて、此の自由な新大陸に移住し來つた者の系統であるだけに、その國家建設に當つても、極めてデモクラチックなものがあつた。歐洲の搾取的支配から獨立して以來米國内には何等の階級なきが如くであつた。ニグロ奴隷制度も、リンカーンによつて廢止された。かくて天然の資源に豐かな米國は、いやが上にも國富み、民榮へた。かくて米國に於ける資本主義は、急激にして、且つ强大なる發達を來した。今や米國資本主義は、特に大戰以後、全世界を支配せんとさへしてゐる。

されど米國の資本主義には、一大特殊性がある。甞つて獨逸の學者ゾムバルトは『米國勞働者は何故に社會主義者たらざるか』と設問して之を論じた。即ち未だ米國に於ては、天然資源は極めて豐富であるに引きかへ、人口は少く、勞働力は缺乏して居る。從つて企業の收益の增加は、常に賃金の高率を保證し得てゐるのである。かかる狀態は、勿論、永遠に續くものではないが、少くとも今日の米國の資本主義はかうした特殊性を或る程度に所有してゐる。

從つて米國に於ける勞働運動は、一部先驅者の運動である如くにさへ見へる。されど、この國の勞働運動の方向こそは、正しく金融資本主義に對抗する其れを暗示するものであつて、特に研究の興味と實益の深且つ大なるものがある。

第二節　初期の勞働運動

一　共産村の實驗

近世初期の社會思想は、所謂ユトピアン社會主義であつたが、この一連の思想家たちは、それぞれ此の新大陸たるアメリカに渡つて、その各々の思想體系に基く共産村の實驗をやつた。それには純宗教的なもの（例へばクエーカー宗徒のものや、アマナ共産村の如きもの）もあつたが、特に注目に價するものは、佛人フーリエー主義者の共産村であつた。これは一八四〇年から五〇年にかけて、可なり盛大なものであつた。

この外、佛人カベーの共産村の實驗や、獨逸人ワイトリングの其れ、また英國人ロバート・オーウエンの其れなど、皆な有名なものであつた。然し此等の社會主義的共産村は、いづれも不成功に終つた。

（詳細は例へばリーフマン『北米共産村』エナ、一九二二年の如き文獻を參照せよ）

二　勞働組合の發生

米國に於ける勞働組合運動は、十八世紀の末から十九世紀の初めにかけて主として印刷工、製靴工、造船工、及び大工の間に起原してゐる。

此の勞働組合の發芽は、勞資間の階級的分裂が明白に生じて來たことの反證であつた。

一八六一年には南北戰爭が起り、六五年まで續いたが、此の黒人奴隷の解放の斷行は、勞働組合の勃興を助けた。そして此れ以後、米國勞働者は、一般

無能無産者の一考

今や我が國の無産階級解放運動は、所謂右翼に左翼に中間と分裂して居る事は僕の如き文盲の輩が喋々しなくとも、最早皆が知り過ぎる程知つて居るだらうと思ふ。而して其れ等の黨派によつて相互に論駁し合ひ、難詰し合ひ、コキオロシ合つて、スサマジイ勢で火花して居るそうだ。何故、そうだと云はねばならぬかと云ふに、僕には不幸にして、彼れ等によつて、ものされる所の論爭なるものが一ッかな解らないのである。何うした所に相互の理論的相異が有るのかさへ皆目解らないので有る。

然しそうした專門的な？理論鬪爭は大いにやるべきで有るかも知れない。そうする事によつて皆なの思想、主義がいよいよ完全になり、深刻さを加へて行くと云ふ事になれば……、だがだ。そうした論爭まではいいとして、此の頃色んな黨派の機關紙なる物を見る時。とても終りまで讀終る事の出來ない程のケガラワシさを感じるのだ何々の爭議に我黨を應援させなかつたから慘敗したのだとか、だからダラ幹だとか、小兒病だとか、何々黨の、何々組合の輩が爭議を切りクズしたのクズさないの、擲たの擲らなかつたの切つたのと、一體何處に無産階級の解放と云ふ大きな目的の爲めに鬪いつつ有ると云へるか。此れぢや工事請負の入札戰とちッとも異らないじやないか

そうした事が、一部幹部、一部指導家と云ふ者の間だけに止どまつて居るので有るならば何にも心配するには、及ばないが。

そうした事によつて一般大衆が、吾々無産階級が、お互に黨派心のとりことなり頑

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に自覺的となり、社會主義思想を理解するに至つた。

第三節　十九世紀後半の米國運動

一　社會主義運動

十九世紀後半に至つて、米國に於ても、歐洲よりの社會主義思想は廣く民衆の間に浸潤して行つた。

かくする間に、一八七二年には、第一インタアナショナルの本部は、當時、歐洲にあつてマルクス派とバクニン派との分裂のために、形式的にではあつたが、倫敦から紐育へと移された。

マルクスは既に五十年代に於て、紐育トリビューン等に通信を送つて居たから、彼の思想は多少は米國に影響を有つて居たではあらうが、此インタアナショナルの本部移轉と云ふ出來事は、少くともマルクス主義をして米國に滲入せしむる一つの有力な動因を與へたものと云へやう。然し、やがて第一インタアナショナルは崩壞した。

かくて一八七七年には、初めて社會主義勞働黨(The Socialist Labor Party)が創設された。然るにこれは、一八八三年頃から、隱和派と極端派とが漸次に分裂を來し、一八八六年のシカゴのストライキのために、兩派の合同は、全く不可能となつてしまつた。

この黨は、一八八八年の大統領選擧に際して、二、〇六八票を得、また一八九六年には三六、五〇三票を得た。

彼等は他方に於て、勞働團體も亦政治運動を行ふべきであると云ふことを主張して、その目的を以て『社會主義勞働同盟』と稱する全國的の團體を組織した。

× × ×

然るに一八九七年に至り、新に『社會民主黨』なるものが組織された。これは從來の『社會主義勞働黨』の偏狹なる態度に對抗して發生したものであつて、鐵道勞働組合が中心となつてゐた。この政黨は、一九〇一年に至つて單に『社會主義黨』と改稱された。

二　勞働組合運動

十九世紀後半に至つては、米國に於ける勞働組合は、相當に發達した。

一八六六年に至つては、六十種の勞働團體を打つて一丸とした『全國勞働組合』が組織されたが、一八七二年の大統領選擧に候補者を立てて政爭に沒頭した爲め、團體それ自體をも破滅するに至らしめた。

× × ×

一八六九年十二月二十八日、ヒラデルヒアの一裁縫工スチブンは、僅か八人の友と共に、一つの勞働組合を作つた。これ有名な『ナイツ・オブ・レバー』(勞働騎士團)の端初である。

一八七〇年代から、この團體は非常なる發達を來し、全米の勞働運動の中心となつた。

一八八六年には、五十萬餘の會員を有してゐた。一八八六年から八八年にかけての同情罷業の失敗の連續が、内部の論爭を惹き起し、次第に此の運動は下火となつた。この間に、右傾派の米國勞働聯合會(A・F・L)が漸次その位置に代ることになつた。

然し一九〇五年に至つては、ナイツ・オブ・レバーは、かの有名なI・W・Wとして更生し來るのであつた。

× × ×

米國勞働聯合會(A・F・L)は、一八八六年、オハイオ州に於て創立されたこれは前出のナイツ・オブ・レバーに反して、職業別組合主義を主張する右傾派の團體であつて、インバースの如きが、その著名な代表者であつた。

この聯合會はその後、次第に發達して、世界大戰後に至つても、一大勢力を占める右派の團體である。

然し此の職業別主義に據らずして、産業別主義を主張する左派のI・W・Wが、一九〇五年に至つてシカゴに成立するのであるが、それは後に述べやう。

三　メーデの起源

この時代の米國の勞働運動史上に、有名な現代勞働運動の最大の年中行事の一つたるメーデーの起原があるとは、なんと興味の深いことであらう

即ち一八八〇年代のアメリカの勞働運動は、八時間勞働制の旗印の下に、猛烈に資本家の牙城に迫つてゐた。時の政府は資本家は、この運動を叩きつぶすために、凡ゆる方法を用ひて妨害した。しかし却つて運動は一層發展し

固な敵愾心さへ抱く樣になる事を自分は悲しむのである。

だからと云つて、彼れ等幹部、指導者、智識階級等を無視したり、ハイセキしたりしようと云ふのでは決して無い。また今頃そう云ふ事を云ふのは時代おくれでも有るだらう。

要は只、我々一般大衆は彼等の云ふがまま成すがままにおいそれと、盲目的服從をする事を止めよと云ふのだ。そして彼れ等の政策なり運動方針たりを絶えず、吾々は監視し批判し、研究して、吾々の意志をジユリンされたり、吾々の貴い運動を阻害されたりしないようにしたければならないのだ。

だから、吾々自覺した所の無産者は、少なくとも無産青年は總ゆるドリヨクをはらつて、批判し考究する事の出來るだけの智識を確得しなければならないのだ。

そうして、彼れ等幹部をして我々の意志を實現さす爲めに利用しなければならない。而して又幹部、指導者、諸君もよろしく、大衆に利用されると云ふ覺悟があつていいはずだと思ふ。

兎に角各々の指導方針、運動方針なんかが違ふと云つた所で、そうして、彼れ等が他黨をハイゲキし、他黨大衆のうばい合をやつた所で、結局吾々無産者が求め、望んで居るのは、唯だ幸福な生活を送る事の出來る社會で有り、自由で有り、搾取なき社會の建設にあるのだ。

されば。左翼右翼、中間一切の勞働者、農民、無産者兄弟姉妹よ、一切の黨派心、シユウ惡なる敵愾心を打ち捨てて、手を握り合へ。

それが出來ないたらば、少なくとも、一朝事ある時はだ。全無産階級が協力一致し

て、一八八四年の十月、シカゴで開催された各種の勞働團體の協議會は、個個のストライキを統一した大運動を起すために、次の如き決議をした。

『毎年五月一日を期して、八時間勞働の實現を目的とする總同盟罷業を決行すること。そして一八八六年五月一日を以て、その第一回の總罷業の日と定めること。』

かくて更に翌一八八五年十一月から十二月にかけて同時に開かれたるナイツ・オブ・レバー及び米國勞働聯合會の各々の大會は、先の勞働團體協議會の決議を支持し、もし資本家が此の要求を容れない場合には、斷然とストライキを決行し、その日以後、全米の勞働者は總て八時間以上の勞働に服せぬことを決議した。かくて全米の勞働者はこの大運動の準備を着々と進め、その日の至るを待ちかまへた。

いよ〳〵一八八六年五月一日は來た。全米の有りと凡ゆる產業に從事する勞働者は、一齊に仕事を中止してこの大運動の火蓋を切つた。數十百萬の勞働者は、到る所の都市に於て、次の如く歌ひ乍ら、街や廣場を練り歩いた。

今日より以後は
一人の勞働者も
八時間以上を働くな！
八時間の勞働！！
八時間の休息！！
八時間の教育（修養）！！

この示威運動の效果は、驚くべきものであつた。五月一日から僅か數日の間に、十二萬五千人の勞働者が八時間勞働制を獲得し、更に一ヶ月後には、二十萬の勞働者が同じく八時間制の獲得に成功したのである。かくて一八八六年の最初のメーデーは、勞働者の大勝利に終り、これより以後、五月一日は永く米國の勞働階級の記念日となつた。

然るにこのメーデーが、三年後の一八八九年に、巴里に生れた第二インターナショナルの第一回大會に於て、全世界の勞働階級の總動員の日と定められた。かくて爾來、メーデーは勞働階級の一大年中行事となるに至つた。

このメーデーのそも〳〵の初まりはかく此の時代のアメリカにあるのである。

（參考——山川菊榮氏述『メーデー』一九二五年版、三——五頁、及び評議會新聞『メーデーの意義と歷史』一九二七年刊、八——一〇頁）。

第四節　今世紀の米國勞働運動

一　I・W・W

I・W・Wとは、世界產業勞働者團（Industrial Workers of the World）の頭字を取つたものである。その發生に就ては、フランスに起つたサンヂカリズムの運動が大きなる刺戟を與へてゐる。卽ちI・W・Wはアメリカン・サンヂカリズムとさへ言はれてゐる。

その起原は前出のナイツ・オブ・レバーに初まる。卽ちナイツ・オブ・レバーが、A・F・Lに勢力を蠶食され初めてから、左翼の一派は終に產業別の勞働組合を作らんとした。

かくてI・W・Wは、一九〇三——四年に於けるコロラード鑛夫ストライキに誕生し、一九〇五年六月、シカゴに於ける會議に於て設立された。此の會議には一八六名の代表者が、九萬人の會員を代表して出席した。

一九〇六年の第二回會議に於ては、八三名の代表者が、六萬の會員を代表して參集した。後ち二年を經て、今日呼ぶ眞のI・W・Wが、穩和派として分離し、社會主義勞働黨と密接に提携してゐた。

一九一二年には第七年次大會が、シカゴに於て開催された。鑛夫首領ヘーウッド（William D. Haywood）は、此の運動の最も著名な人物であつた。

一九一七年四月、米國が終に對獨宣戰を發し、歐洲大戰に參加するや否やI・W・Wは、諸方に於てストライキを企て、政府、軍隊、暴民を勇敢に鬪つた。

一九一七年九月、組合員一一四名は戰爭妨害の叛逆罪に問はれ、幹事ヘイウッド以下十四名は二十年間の禁錮と一萬弗の罰金を宣告されたのを初めとして、デブス（Eugene V. Debs）其他の勞働運動家に對する裁判事件が無數に起つた。

一九一九年五月には、シカゴに於て第十一回大會が開かれた。多數の市民は之に反對したにも拘らず、大會は

てもつて吾等を抑壓せんとする獸と勇敢に戰ふべきである。べきで有るではない。兄弟よ戰う事をチカヲウではないか（太田茂）

不良坊主を退治せよ

俺は偉い佛教家だ思想善導家だと總ゆる假面をかぶつて吾々無產大衆をギマンし搾取する奴があるそれは吾々を餓死に導びく强慾飽くなきクソ坊主階級の奴等だ、奴等を排斥せよ、奴等のために吾々無產階級者はドレ丈搾取されつゝあるか、搾取する奴は資本家地主階級の奴等許りだと思つて居たら大なる間違ひだ。奴等ブル坊主の搾取振りの巧妙なる事は、資本家地主階級の奴等より以上に惡辣であるかも知れない。奴等は大衆を一堂に集めて言ふ佛教を信じよナムアミダブツを唱へよさすれば極樂行は疑ひなしとぬかし階級意識に目覺めんとする善男善女をギマンし私腹を肥し、搾取して居るではないか、それでも搾取したらずに、極く田舍に來ては生佛樣だと自稱し、一寸頭に髮ソリをつけてなでた許りに、巨大なる金錢を橫領して行く事實を見よ、實に奴等の一擧一動總べて之れ搾取のためだ俺達は何處の町に行つても村に行つても一つや二つの寺院を見る、其の刹那奴等に對する嫌惡の念は層一層シ烈となる、それは何故か、一本の柱より一枚の瓦に至る迄、總べて吾々より搾取して得た建築ではないか、全無產大衆よ、斯うした强慾飽くなきブルジョアー搾取坊主階級の裏面に行はれつゝある惡辣なる事實を白日の下にサラケ出し大衆の輿論を捲き起せ。奴等を排退せよ。

福岡縣　力丸與八郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

靜肅に開かれ、徹底的組織を形成した。

先に罪に問はれたヘイウッドは刑の執行を脱れんが爲に、米國を脱出してロシアに入り、爾來、I・W・Wの中に共產主義を浸入せしむることに努力するに至つた。かくて、一九二四年に至り、I・W・Wの再組織となり、執行部長ジョンソン等の努力が成功して、漸くその陣容を立て直すこととなつた。そしてその再組織の綱目に就ては、一九二五年末から一般投票を行つて決定することになつた。

二　社會主義運動

十九世紀の後半から、米國に於ても相當に社會主義の論客が現れて來た。即ちジョン・スパルゴー(John Spargo)や、ロバート・ハンター(Robert Hunter)は、その著作が廣く讀まれてゐる人々である。此外、イーリーや、セリングマンの如き教授的社會主義者もあれば同情ある社會主義の研究者もある。

尚ほ大學生の間には、此の方面の思想團體が相當に發達してゐる。

× × ×

一九〇一年には、前出の如く、社會民主黨が改名されて米國社會主義黨(The Socialist Party in America)が創立された。これは右翼團體であつて、數に於ては相當に發達したものである。

一九一七年四月、對獨宣戰が布告された時、社會主義黨では直ちに臨時大會を開いて、その對策を講じたが、思想の相違のために有力なる黨員は脫黨して、別に又、社會民主同盟を創設した。

× × ×

一九一八年十一年には、シカゴに於て、米國勞働黨が創立された。これは大戰後の英國勞働黨の改造に刺戟されたものであつた。全國の勞働者及び農民の代表者一千餘名が、この創立大會に參集した。この政黨は、經濟的、產業的、社會民主主義の實現をその目的とした。

他方、社會主義黨内にも、大戰後、左翼派が形成され、一九一九年六月の左翼派の會合及び同年八月の社會黨の會合によつて、一個の左翼團體が分離した。一は共產黨であり、他は共產勞働黨であつて、共にモスクワの第三インタナショナルに加擔した。

追記——上來、數回にわたる私の勞働運動講座は、今や歐米の主要な國々に於ける諸運動の主潮を講述し終つたから、本號を以て一先づ閉講とする。勿論、それは、ホンの概說たるに過ぎないもので、誤謬誤植も多いことゝ思ふ。この點は、ひとへに讀者諸君の御批正に俟つ。何ほこれらは總て纏めて『歐米勞働運動小史』として近刊の豫定である。終りに此の講座の執筆をエンカレーヂされたる進め社同人諸君に對して、深く感謝の意を表す。(筆者——一九二七、七、二七)。

支那大衆へ與ふ

涙人

北軍優勢、蔣介石下野の聲は、支那の時局を注意してゐる人々の胸をつき初めた。支那電報の誤謬は往々の事であるが爲めに、にはかに決定する事は出來まいが煙のある所必ず火があるたとへの如く、北軍の優勢は事實かも知れぬ。

北軍の背後に日本軍閥の魔手がある事は、世界で知らぬ人はない。田中内閣が積極政策と稱して、先に東方會議を開き、再三出兵を斷行し、政友會の策士山本條太郎を滿鐵社長として、從來の四頭政治を廢して、滿鐵にあらゆる權限を集中せしめ、今亦、大連において第二次東方侵略會議を開かうとしてゐる。田中は滿洲の日本の地位は斷乎として擁護すると云つてゐるから、張作霖の援助をするのは極つた話だ。

これが北軍優勢の第一の條件である。第二の原因は北伐軍の不統一である。この罪は武漢派が負はねばならぬ。彼等は蔣介石の墮落を云つてゐるが、それが眞なら武漢派が蔣介石を墮落せしめたのである。

支那で共產革命が出來るとしても、それは列强の帝國主義を破つてからの事だ。その第一の事業がまだならざる中に早くも小野心の爲めに策動を試みるのは支那を賣り、共產主義を賣るに等しきものではないか。

プロ青年の使命

世界大戰後、勞働運動、農民運動、水平運動、學生社會運動、等々社會運動が急速的に進展を見せて、ブルジョア共をして戰慄せしめた。此れらの諸運動が一團となつて吾々の目指す大理想に突進したなら、もう直ぐにも吾々の日が來そうな形勢であつた。然しブルジョアの一日も許すことなく彈壓に彈壓、迫害に迫害、ブルジョア政府の一大制裁を受けつゝ、遂に今日の如く分裂に分裂、四分五裂の亂狀態をひき起し、プロレタリアが自からの醜態を曝露し以て、自からの墓穴を掘りつゝある現狀を視て、吾人無產青年の一日もゆるがせにすることの出來ない秋ではなからうか、吾人プロ青年は一致團結して我國現狀に不適當な一切の空論を捨て、徐々に吾々の〇〇に向つて突進せなければならぬ。プロレタリア青年諸君は、今日の我國社會運動の如き、内輪闘爭は以て社會運動を攪亂し進展を阻害するの甚だしきを自覺し、全國數千萬プロレタリアの打つて一丸となり、以て吾々の理想する〇〇の達成に努力するの覺悟があらねばならぬ。如何に外部より迫害が迫らうとも、如何に猛烈たる切崩し策が行はれやうとも、今後の吾國社會運動に一大使命を有する吾人プロ青年は斷じて内的闘爭を避けて、然して多年屈辱を受けて來たプロレタリア大衆のため理想社會建設に向つて進まなければならぬ。進め！同志！進んで退く勿れ。

一九二七、八、七

敦賀支局　西村天津兒

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講談

地を荒すもの

中島安太郎

一　餓莩充路

礪波長崎の茂兵衛はその晩不思議な夢を見ました。いつもなら寢つかれはしないのでまんぢりともしないで夜一夜、いろんな幻想に惱まされてゐるのでしたに、はておかしいと、小首を傾むけて考へてみました。何だと。訴人すれやあ、此の大それた企てを、石動町のお役人様へ、すれやあ立ちどころに、此の茂兵衛が、いや誰れでもが、ととうの訴への御ほうび、大枚金子は銀百枚戴けるんだぞ。としたところが賣らないお米、黄金をなめて繋がれる生命ぢやあるまいし、駄羅臭い。それにしたつてあの夢は。

空は紺青に晴れてゐます。山はひとつも見えません。茂兵衛の小舎は礪波八乙女山なる、長崎村の氏神様の右脇なのですのに。海が見えます。それが灰色です。茂兵衛は河原につゝ立つてゐます。始めのうちは庄川だとばかり考へてゐました、いやそれは石がるい〳〵と敷つめられた野原です。誰れが見るともなく石を注意して見る？と如何でせう。それがみんな骨です。頭蓋骨が風雨にしやれて白くなつたのを、さてもさても、澤山なこと。ところがその中のひとつが動き出します。おかしいことだわい、それが白蠟のやうな女の生首に化けて笑つて話しかけるではありませんか。けれどもそれは何を云つてゐるのか茂兵衛には解り兼ねます。じつと考へ込むで立つてゐる茂兵衛に『お兄さん』『よう』と云つてゐる、たやうです。あつ！　お妙だ。で目が覺める。それがしつこくも三度續いたのでした。阿呆らしい。夜はまだ明けませぬ。此の山村の夜は恐ろしく森閑としてゐます。茂兵衛の頭の中にはいま夢と現の二つの幻が表現派の踊りを躍つてゐます。

安政五年七月十六日の未明のことでした。封建の夢は深く、將軍家定は大江戸にあつて、榮華の夢幻美に心魂をとろかし、愛する女たちの軟かい肉や緋縮緬のお腰卷の匂ひにあの恐ろしい大地震が、日本の大衆を、そして此の凶作がお百姓達をどんなに苦しめてゐることぢややらとも考へないで醉ひ痴れてゐるのです。加賀能登越中の三箇國は云ふ迄もなく富山の城主前田長門守利保が百萬石の笹の夢、金澤大乘寺の城主等と共に酒池肉林、漁色の餘暇を割いて、歌學に和學、悉曇學、珍卉異草の御研究、北國の四海浪靜かにして時津風は枝も鳴さぬ御代の夢をうろついてゐたに相違御座いません。礪波長崎の茂兵衛の夢も夢、家定の夢も夢、長門守の夢も夢、どうせ世の中は、大きな夢の共同見物に相違御座いません。茂兵衛は默つて考へ込んでしまひます。穀物氣を全く咽喉を通さぬやうになつてから今日で三十二日目です。山薯を掘り盡した、湯谷、小牧、大牧、草嶺寺、長崎等の礪波五六村の民は毒だみの根を採つて喰ひ、松、楢、樫、槲、椋、榎、柿、栗の葉を鍋でいり粉にして用ひ、大葉子の根を採り絶やし、蛇を捕へ蛙をとつて糧としたのですがどうしても、稗麥か粟黍を何程かづつ混合しなくては人體の營養がとれません。滋養の三要素のうち澱粉は何よりも貴重だと、理科の先生が仰言るではありませんか。もうその頃はぐず葉やぢやうばは採り絶えてゐたのです。夜は明けんとします、闇はうすらいで行きます。けれども鷄犬の聲は聞こえません。淋しさの極みです。餓じさの極みです。

茂兵衛はうつぶして狂ふ胃袋を壓へつけました。食ひ物は無し動けば目がくらみます。あのやさしいお妙を思ひ出さうとします。胃袋が承知しません『あら兄さんつたら、あんなことばかり云つてよ、嫌だわ、わたし、もうあたし、何にも云ひはしないわよ』。『いゝぢやあないか妙さん。そんなに恥かしがらんかてて俺あ、お前がなあ、お前が、どんなことをさ、村の若い奴らと云つてゐたにしたところでなあ、いゝぢやあないか、あつち向かんかてて俺がなあ、なあ妙さん……阿娜なお妙の白い可愛い顔が消える。また胃袋だ。その時だ。それこそ、何處からともなくあわれな細い聲が蚊の歌のやうに聞こえて來た。ナアニ、そんな氣がしたのか。でも今宵は嫌た夢を見たものだ。畜生。

ひもじいわいなあ――

ひもじいわいなああア。何と云ふ、いやな哀れつぽい聲でせう。衣食足つて禮を知るとかや、飢えが極に達した場合に何處の國に恥があろうぞ慮外がありませうぞ。茂兵衛はぶるぶると身ぶるいしました。

諸君！　諸君は漢書を御覽になつたで御座いませう。そして支那古代の『餓莩道に充つ』と云ふ言葉をよく御讀になつて、別に深くも御考へなさらなかつた事が有りはしませんか。

ひもじいわいなあア

と云ふうらむやうな泣くがやうなあはれつぽいまた物凄い聲、おゝそれは

俺達プロレタリアが、上に事あらば迫る饑餓のリズムである。亡び行くものの聲である。亡び度くない。亡びたくない、これから路傍に白骨が横たわらう。「妻は夫を食ひ、子は親を喰ふ」と云ふ近年陸軍が勞農政府中傷の爲に書いたポスターその儘のありさまとなるので御座います。嗚、餓莩充レ路。

二 おどる竹槍

とつくにの文王武王はいざ知らず、民如何に餓えばとて倉廩を開いてこれを賑恤すると云ふ事は餘つ程、むづかしい事だと見えます。さればこそ大塩平八郎が大阪に兵を擧げた天保八年、二宮尊徳は、相州小田原の城下におきまして吝ん坊の藏役人共に對して激語を發して倉廩を開かせました。

もうその頃から資本主義は封建諸侯が無意識に威張つてゐるうちに來る可き飛躍の時代を靜かにねらつてゐたのでしたが、實際表向きは大名でも、大阪の淀屋辰五郎みたいな商人にはてんで頭があがらなかつたのです。百姓達が餓死してゐる時、町人中の大商人米商達は贅澤三昧な日を送り妾を畜つたり、その他種々な遊藝などに身をやつし『ひもじいわいなあ』の叫びを蚊の啼く程にも思はず、邸宅、美服、酒肉、美人、甘味しい米に醉ふてゐるし、武士はまた此の商人に取り入つて、ひたすら安逸と大平とを樂しんでゐたのです。前田利保は富山に千歳館といふ御殿を今日の金にすると約百八十萬圓で築き其の結構の善美を盡し、何處からつれて來たのか、自分の子供のやうな若い美しい三人の娘の貞操を弄さんで、さんざん樂しんでゐました。おみね、おつや、おなをと云ふのがその餌食になつて公然辱しめられてゐた婦人達です。これを御妾と申し上げるさうで御座います。色に飽けば納涼所で歌の會――。

五十を越たばかりの性慾のおう盛な領主利保が、若いおつやの彈力のある白い胸に抱きついて、新しい眞綿のはいつた紅色の女の絹夜具にまつはつて享樂から醒めてまたうと〳〵と夢路をたどる可く、その眼には欄間の紅白の梅がかすかに、ほゝ笑んで見えます。

おつや……そちは……そちは……。余が寶、可愛い奴ぢやと云ふに――。お寢間から洩れる殿の耳語き、女の何か訴ふるやうな聲も、ほそ〳〵と洩れる。

話かわつてこちらは礪波長崎近郷の無産大衆で御座います。誰れ云ふと無く殺氣立つた人々の口から洩れる奸商共に對して試みる餓死の前の最後の突撃が口にのぼりそれが漸く具體的に解決したのでした。これは何も十六日と云ふ今日物新しく考ひられたことではないので十日も前から口へは出さぬが人々の眼は異様に輝いてゐたのです。前夜困窮の極に達した、十六になるお妙の一家が今年三つの三吉まで家内四人、彼女の母と幼ない弟妹二人とが木綿帶でしつかり四人の體を縛して庄川へ身を投げたのです。その屍體が中野河原へ引き揚げられたのはたつた今です。食糧は完全に盡きました。人々は金を集めて井波の町へ下つたのです。米屋は一粒も賣ることが出來ないと云つたので、一石二十四匁と云ふ恐しい高價な米を、二匁も高く少量ばかり買つては來ましたが金は盡き果てた今日、命がつなげる道理はありません。聖者の死か、となりの垣を越えて生きるかの境です。老人達ももう何んにも云はなかつたのです。その日餓死する者が近郷に七人ありました。北市村の源右衛門や又吉や虎松の運命(寶暦五年十一月二十三日城端に蜂起、捕はれて在所生家前に磔殺さる)が俺達の上に逼つてゐるのだ。それが何だ。進め! 進め!。

莚旗は靡る。

竹槍は躍る。呪ふ可き奴等め。俺達の血と汗の結晶を不斷にしぼる横着物うらみの竹槍を受けろ。群衆心理學者の研究題目は完全に展開されます。かんじやう寺山へ勢揃へしたのはその日の夕方、井波の町からは夕餉の煙がところどころ昇り初める頃、山は夕焼けで眞赤、礪波平野は一望のうちに見えます。。とうとうです。銀百枚です。お妙の死です。××です。茂兵衛の心の闇に怪しくも閃めく死の光は、まつかな若い血をおどらせました。何の爲の銀百枚だ。おゝ、お妙、俺も行かあ。俺も――。

これからがほんたうの話になるのです。面白くなるのです。ですが今日はこれで止めませう。次の一齣は嵐の詩です、こわします。×します。最後は秋風なまぐさし××の風です。ゴビの砂漠です。砂漠の砂漠です。翌年茂兵衛は井波町觀音尻で磔にたりました。硬骨漢礪波長崎の茂兵衛の靈よ。安らかなれ、お盆には還つて來い。三千丈の地の下地獄から――俺と話さう。進めの讀者と語らう。

参考

米價騰貴し一石百二十五匁に至る。同年七月、高岡、氷見、放生津、福光、井波、東岩瀬、水橋、漁津、八尾等合地に貧民蜂起し竹槍蓆旗螺を吹き鬨をあげ、以て富豪の家に侵入し邸宅を破り財物を奪ふ。殊に井波には××××せしものあり。公邪場撿鼠となり地方大に擾亂す。(越中史料)

――一九二六、七、二二稿――

社會運動の急先鋒
月二回刊
大衆新聞
一部五錢
一年一圓
長崎縣諫早町原口名六九二
大衆新聞社

無産者法律雑誌
月刊
法律戰線
一部十錢
一年一圓
東京市外雜司ケ谷八一五
生活運動社
振替東京三六四五五番

無産青年前衛機關
旬刊
青年新報
一部五錢
送料不要
長野市妻科町一五九
勞農青年同盟

水平運動の權威
全國水平新聞
毎月二十五日發行
一部五十錢
一年六十錢
長野縣北佐久郡北大井村
全國水平新聞社

無産階級の理論雑誌
月刊
社會思想
一部参拾錢
東京市四谷區鹽町
社會思想社

思想文藝評論雑誌
月刊
解放
一部三十錢
東京市芝區新櫻田町
解放社

社會問題パンフレットを備へよ！

社會問題
マルクス 哲學の貧困
定價
一部三拾錢
送料不要
切手代用可

マルクスの初期の名著「哲學の貧困」の要領よき抄譯。一讀その大要を知悉し得る便利なもの。

社會文獻 何を讀むべきか
定價
一部三拾錢
送料不要
切手代用可

社會問題に關する主要な日本の文獻を網羅したもので、初學者にも研究家にも極めて必要で便利なもの。

發行所 社會問題研究會

進め社本部で取次する

婦人良薬
喜谷實母散
産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有
▲全國到る處に販賣す
本舗
東京京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎[illegible]衛門
電話京橋五五番 五六[illegible]

金
銀
白金
東京市神田區松田町
徳力本店

Head Office; Su-su-me-Sha
1890, Oimachi near Tokyo, Japan

The Su-su-me
(ForWard)

Vol.V No.9
August 1927

新涼の訪れ
——新秋の御買物は三越
新涼の訪れと共に、店内には清新なる秋の百貨が、早くも充實して參りました、何卒御用命願上ます
三越呉服店

ユニオンビール
日本麥酒鑛泉株式會社大阪支店
大阪市西區立賣堀

天賞堂特製品
金銀製 記念盃

東京 天賞堂本店 銀座
大阪支店

精工舍製腕時計

SEIKO
歐米各種時計
裝身具ヒスイ
サンゴ鼈甲類
貴金屬美術品
精工舍各種時計
金銀盃洋食器
ダイヤ寶石類
寫眞器双眼鏡
測量器製圖器
服部時計店
—●東京銀座二丁目●—

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和二年九月一日發行
昭和二年八月廿八日印刷納本
第五年第九號
毎月一回一日發行
定價 一部十錢（税五厘） 半年六十錢 一年一圓（税共）
廣告料 一行一圓
發行所 東京市外大井町鈴ケ森海岸一八九〇（振替東京六八八五三） 進め社本部
發行編輯兼印刷人 福田狂二
大阪市北區茶屋町四一 大阪事務所